

(様式第 10)

金大病総第 45 号
令和 元年 10 月 1 日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人金沢大学長
山崎 光悦

国立大学法人金沢大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 30 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒920-1192 石川県金沢市角間町
氏 名	国立大学法人金沢大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人金沢大学附属病院

3 所在の場所

〒920-8641 石川県金沢市宝町13番1号	電話(076)265-2000
----------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
① 呼吸器内科 ② 消化器内科 ③ 循環器内科 ④ 腎臓内科 5 神経内科 ⑥ 血液内科 7 内分泌内科 8 代謝内科 9 感染症内科 10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科 ⑪ リウマチ科	
診療実績 脳神経内科、内分泌・代謝内科	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名	
①呼吸器外科 2消化器外科 ③乳腺外科 4心臓外科	
5血管外科 ⑥心臓血管外科 ⑦内分泌外科 8小児外科	
診療実績	
胃腸外科、肝臓・胆のう・膵臓・移植外科	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8産科 9婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 12放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科 2矯正歯科 ③口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1形成外科、2腫瘍内科、3腫瘍外科、4漢方内科、5病理診断科、6リハビリテーション科
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
46床	床	床	床	792床	838床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	418人	145人	519.5人	看 護 補 助 者	42人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	16人	8人	19.1人	理 学 療 法 士	15人	臨床検査技師	60人
薬 剤 師	56人	3人	58.0人	作 業 療 法 士	7人	衛生検査技師	2人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	12人	そ の 他	0人
助 産 師	23人	0人	23人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	844人	6人	848.0人	臨 床 工 学 士	18人	医療社会事業従事者	9人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	16人
歯 科 衛 生 士	2人	0人	2人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	143人
管理栄養士	8人	1人	8.7人	診 療 放 射 線 技 師	39人	そ の 他 の 職 員	29人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	67人	眼 科 専 門 医	10人
外 科 専 門 医	34人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	15人
精 神 科 専 門 医	6人	放 射 線 科 専 門 医	21人
小 児 科 専 門 医	19人	脳 神 経 外 科 専 門 医	8人
皮 膚 科 専 門 医	7人	整 形 外 科 専 門 医	19人
泌 尿 器 科 専 門 医	13人	麻 酔 科 専 門 医	14人
産 婦 人 科 専 門 医	16人	救 急 科 専 門 医	7人
		合 計	256人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (蒲田 敏文) 任命年月日 平成28年4月1日

平成28年度から医療安全管理委員会の委員長として出席している。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	650.1 人	5.4 人	655.5 人
1日当たり平均外来患者数	1,503.8 人	69.8 人	1,573.6 人
1日当たり平均調剤数	1805.6 剤		
必要医師数	156.5人		
必要歯科医師数	5.0人		
必要薬剤師数	23人		
必要(准)看護師数	381人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要
集中治療室	m ² 462		病床数 : 22床 心電計 : (有)・無
			人工呼吸装置 : (有)・無 心細動除去装置 : (有)・無
			その他の救急蘇生装置 : (有)・無 ペースメーカー : (有)・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	347m ² 病床数 27床
	[移動式の場合]	台数	13台
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	73m ²
	[共用室の場合]	共用する室名	
化学検査室	523m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 免疫発光測定装置、全自動免疫測定装置、ディスクリット方式臨床化学自動分析装置、検体前処理装置、蛋白分画電気泳動分析装置、免疫比濁測定装置、全自動電気泳動分析装置、迅速糖尿病生理機能検査装置、迅速糖化診断生理機能検査装置、自動浸透圧分析装置、乾式臨床化学分析装置、自動化学分析装置、大腸生理機能予備検査装置、総合生理機能検査前輸血支援システム、赤血球沈降速度測定装置、汎用血液ガス分析装置、血液検査システム、呼気中13CO ₂ 分析装置、臨床検査支援システム、恒温器、血液検査装置、心疾患関連マーカー自動測定器システム、遠心機、蒸留水製造装置、尿化学分析装置、顕微鏡、精子特性分析機、マルチカラーフローサイトメトリー
細菌検査室	94m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液培養装置、同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、全自動細菌検査システム、クリーンベンチ、サーマルサイクラー、結核菌迅速診断装置、マイクロチップ電気泳動システム、嫌気ワークステーション、全自動遺伝子解析システム、遺伝子解析装置、恒温器、炭酸ガス培養装置、遠心機、乾熱滅菌器、高圧滅菌器、純水製造装置、顕微鏡、質量分析装置

病理検査室	112m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動免疫染色装置、自動固定包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	134m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 無影灯、解剖台、計量器			
研究室	752m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 血液ガス分析装置、マイクロプレートリーダー、手術支援ロボット、超低温フリーザー、バイオハザード対象用キャビネット、遠心分離機、インキュベーター、高速タンパクブロッキングシステム、オートクレーブ、クリーン・ベンチ、顕微鏡、蛍光実体顕微鏡、薬用冷凍冷蔵庫、低温冷凍庫、ドラフト			
講義室	267m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	収容定員	300人
図書室	166m ²	鉄筋コンクリート	室数	2室	蔵書数	4,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	86.3%	逆紹介率	80.9%
算出根拠	A: 紹介患者の数		11,560人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,145人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		341人
	D: 初診の患者の数		13,784人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
長島 久	富山大学附属病院	○	医療の質・安全推進部長として医療安全に関する業務に従事しているため	有・ 無	1
麻生 小夜	金沢あおば法律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	有・ 無	1
和田 真由美	血液疾患の患者の会「萌の会」		「萌の会」の代表として活動しており、医療を受ける立場から意見を述べるができるため	有・ 無	2
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	(有)・無
委員の選定理由の公表の有無	(有)・無
公表の方法	
本院のホームページに掲載している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 腹膜播種陽性または腹腔細胞診陽性の胃癌症例を対象として、S-1+パクリタキセル経静脈・腹腔内併用療法の安全性と有効性を評価する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	62
2	筋萎縮性側索硬化症	10	57	特発性拡張型心筋症	27
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	20
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	11	60	再生不良性貧血	113
6	パーキンソン病	66	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	3	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	7
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	53
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	15
11	重症筋無力症	80	66	IgA腎症	24
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	25
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	50	68	黄色靱帯骨化症	16
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	14	69	後縦靱帯骨化症	59
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	75
17	多系統萎縮症	10	72	下垂体性ADH分泌異常症	11
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	23	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	8	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	1
21	ミトコンドリア病	6	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	21	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	23
23	プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	61
24	亜急性硬化性全脳炎	1	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	9
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	19	83	アジソン病	3
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	91
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	29
31	ペスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	21
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	15
34	神経線維腫症	11	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	15	90	網膜色素変性症	10
36	表皮水疱症	5	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	3	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	93	原発性胆汁性肝硬変	59
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	5
40	高安動脈炎	26	95	自己免疫性肝炎	23
41	巨細胞性動脈炎	7	96	クローン病	132
42	結節性多発動脈炎	19	97	潰瘍性大腸炎	132
43	顕微鏡的多発血管炎	27	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	10	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	10	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャー病	11	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	4	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	301	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	126	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	359	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	45	107	全身型若年性特発性関節炎	6
53	シェーグレン症候群	55	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	21	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	14
113	筋ジストロフィー	2	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	1	167	マルファン症候群	4
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	3
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重症型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重症型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	1	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	1	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	3
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1
222	一次性ネフローゼ症候群	23	270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	21
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	4	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	3	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	9
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	2
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	6

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β ーケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	5
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	1
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1
・歯科外来診療環境体制加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・データ提出加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)	・入退院支援加算1
・特定機能病院入院基本料(精神病棟)	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算2	・地域歯科診療支援病院入院加算
・医師事務作業補助体制加算1(50対1)	・特定集中治療室管理料2
・急性期看護補助体制加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・看護職員夜間配置加算1(12対1)	1. 母体・胎児集中治療室管理料
・療養環境加算	2. 新生児集中治療室管理料
・重症者等療養環境特別加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・無菌治療室管理加算1. 2	・小児入院医療管理料2
・緩和ケア診療加算	
・精神科応急入院施設管理加算	
・精神病棟入院時医学管理加算	
・精神科身体合併症管理加算	
・精神科リエゾンチーム加算	
・栄養サポートチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1 感染防止対策地域連携加算あり 抗菌薬適正使用支援加算あり	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	
・後発医薬品使用体制加算3	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)
・糖尿病合併症管理料	・抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・がん患者指導管理料イ	・検体検査管理加算(IV)
・がん患者指導管理料ロ	・国際標準検査管理加算
・がん患者指導管理料ハ	・遺伝カウンセリング加算
・外来緩和ケア管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・移植後患者指導管理料	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・胎児心エコー法
・糖尿病透析予防指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・高度腎機能障害患者指導加算	・人工臓器検査
・院内トリアージ実施料	・皮下連続式グルコース測定
・外来放射線照射診療料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・ニコチン依存症管理料	・神経学的検査
・がん治療連携計画策定料	・補聴器適合検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ロービジョン検査判断料
・薬剤管理指導料	・小児食物アレルギー負荷検査
・医療機器安全管理料1	・内服・点滴誘発試験
・医療機器安全管理料2	・センチネルリンパ節生検(片側)
・医療機器安全管理料(歯科)	・有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査
・歯科治療総合医療管理料	・有床義歯咀嚼機能検査2の口及び咬合能力検査
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・画像診断管理加算3
・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	・遠隔画像診断
・持続血糖測定器加算	・CT撮影及びMRI撮影
・遺伝学的検査	・冠動脈CT撮影加算
・骨髄微小残存病変量測定	・心臓MRI撮影加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・乳房MRI撮影加算	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・頭部MRI撮影加算	・羊膜移植術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・外来化学療法加算1	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・無菌製剤処理料	・網膜再建術
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・人工中耳植込術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・がん患者リハビリテーション料	・乳癌悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・乳癌悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・精神科作業療法	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・医療保護入院等診療料	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)
・人工腎臓	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膈腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・CAD/CAM冠	
・歯科技工加算	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・皮膚悪性腫瘍切除術(センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・胸腔鏡下弁形成術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・胸腔鏡下弁置換術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・経皮的カテーテル大動脈弁置換術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・経皮的中隔心筋焼灼術

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・膀胱水圧拡張術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・補助人工心臓	・腹腔鏡下陰式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・輸血管管理料Ⅱ
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・コーディネート体制充実加算
・体外衝撃波胆石破碎術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下肝切除術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・生体部分肝移植術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・同種死体肝移植術	・麻酔管理料(Ⅰ)
・体外衝撃波膀胱石破碎術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	・放射線治療専任加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下小切開副腎摘出術	・高エネルギー放射線治療
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・同種死体腎移植術	・定位放射線治療
・生体腎移植術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肥満時の薬物動態変動による医薬品副作用の回避戦略	崔 吉道	附属病院	600,000	補委 日本学術振興会
高濃度NaClによる抗癌剤内包ミセルの抗腫瘍効果増強とその動態	上野 貴雄	附属病院	500,000	補委 日本学術振興会
内因性免疫による頭頸部ウイルス発癌における内分泌擾乱物質の関与と新規治療法の開発	近藤 悟	附属病院	4,000,000	補委 日本学術振興会
交流磁場併用による抗がん剤薬理作用増強効果を利用した新規化学療法の開発	小林 誠	附属病院	1,300,000	補委 日本学術振興会
大腸癌術後再発を前癌病変とする新たな大腸癌発癌経路の同定と発癌メカニズムの解明	澤田 武	附属病院	100,000	補委 日本学術振興会
セレノプロテインPを介した脂肪酸によるインスリン抵抗性回復機序の解明	竹下 有美枝	附属病院	1,000,000	補委 日本学術振興会
心筋炎治療へ向けたリン酸ジエステル加水分解酵素阻害薬抗炎症効果の基礎研究	斉藤 剛克	附属病院	750,000	補委 日本学術振興会
強皮症モデルマウスにおけるサイトカイン産生B細胞の役割	松下 貴史	附属病院	700,000	補委 日本学術振興会
肝内胆管癌の遺伝子・分子生物学的機構に基づいたイメージバイオマーカーの研究	小坂 一斗	附属病院	600,000	補委 日本学術振興会
陽子線治療後肝癌の画像変化と治療効果判定方法の研究	高松 繁行	附属病院	200,000	補委 日本学術振興会
逆流性食道炎による食道発癌過程でのエピゲノム変化とがん微小環境の解明とその制御	宮下 知治	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
大腸癌における Na ⁺ /H ⁺ 交換輸送体阻害による新規抗癌治療法の開発	二宮 致	附属病院	500,000	補委 日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫に対する新規強磁性体温熱療法とmTOR阻害剤の併用療法の開発	田村 昌也	附属病院	200,000	補委 日本学術振興会
GSK3βを分子標的とする神経膠芽腫治療の基礎基盤の確立	宮下 勝吉	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
数値流体解析の個別化による血管内治療後の脳動脈瘤再発の術前予測	見崎 孝一	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
Androgen/ARシグナルの抑制によるCCL20を介した免疫寛容誘導の解明	泉 浩二	附属病院	450,000	補委 日本学術振興会
尿路HPV感染率と生殖器悪性腫瘍とHPVとの関連性についての検討	重原 一慶	附属病院	800,000	補委 日本学術振興会
子宮筋腫に対する新規治療戦略の開発	小野 政徳	附属病院	1,000,000	補委 日本学術振興会
卵管上皮に対する月経と排卵に伴う液性因子の発がん誘導作用の解析	水本 泰成	附属病院	700,000	補委 日本学術振興会
ミセル化バクテリアセルによる頭頸部癌次世代治療戦略と薬剤耐性克服への応用	遠藤 一平	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
時計遺伝子の遺伝子多型による正常眼圧緑内障の眼圧日内変動の予測	東出 朋巳	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
DIC病態における炎症と凝固のクロストークと血管作動性物質の役割	朝倉 英策	附属病院	1,100,000	補委 日本学術振興会
逐次治療の評価における重み付き並び替え法を用いた新規推定法の開発	吉村 健一	附属病院	700,000	補委 日本学術振興会
高齢院外心停止傷病者における心肺蘇生および予後に関する研究	舟田 晃	附属病院	600,000	補委 日本学術振興会
網羅的遺伝子解析による新規LDLコレステロール代謝関連分子Xの発見とその機能解析	多田 隼人	附属病院	900,000	補委 日本学術振興会
モデルマウスを用いたIgG4関連疾患における線維化・硬化病態の解明と治療法の確立	水島 伊知郎	附属病院	800,000	補委 日本学術振興会
女性がん病ifPS細胞由来心筋を用いたXISTの役割と遺伝子治療の可能性について	吉田 昌平	附属病院	700,000	補委 日本学術振興会
甲状腺分化癌における新規分子標的薬の超早期適応決定	萱野 大樹	附属病院	700,000	補委 日本学術振興会
画像病理比較を基盤とした限局性自己免疫性肺炎と肺癌の高精度鑑別手法の確立	井上 大	附属病院	700,000	補委 日本学術振興会

(¥24,500,000)
小計 29件

ラットHUSモデルにおける新たな治療法の検討	栗田 昭英	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
原発性アルドステロン症の罹病率と遺伝子学的背景及びステロイドプロファイルの検討	唐島 成宙	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
唾液ならびに口腔内細菌叢解析に基づく腎臓病の病態評価とバイオマーカー開発	中出 祐介	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
環境及び併存疾患がIgG4関連疾患の発症進展に与える影響	藤井 博	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
B型肝炎ウイルスが引き起こす肝組織構成細胞の変化と癌化の解明	川口 和紀	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
肺癌における早期エビゲノム診断を目指したマイクロRNA発現異常領域の同定	大坪 公士郎	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
呼吸器縮液を用いた慢性咳嗽の診断法の確立、病態評価、難治化因子の解明	原 丈介	附属病院	750,000	補委	日本学術振興会
アポトーシス抵抗性に起因する変異型選択的EGFR-TKI耐性克服治療の開発	竹内 伸司	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
細胞骨格依存性シグナルの腎線維化にはたす意義	坂井 宣彦	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
モデルマウスを用いた硬膜移植による脳βアミロイドシンの個体間伝播についての研究	濱口 毅	附属病院	950,000	補委	日本学術振興会
自己免疫性造血不全におけるdel(13q)クロン活性化機序の解明	石山 謙	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
PUVA処理した制御性樹上細胞の更なる免疫抑制増強の試み：新たなGVHD治療戦略	前馬 秀昭	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
新規PETトレーサーF18-FDSを用いた腎PET画像診断法の確立	若林 大志	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌の分子・遺伝子的亜分類に基づいたradiogenomics	北尾 梓	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
心筋梗塞後の病態変化と左室リモデリング予測に関する継時的生体分子イメージング研究	瀧 淳一	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
大腸癌における循環腫瘍DNAを用いたEGFR抗体薬耐性の検出と個別化治療への応用	中村 慶史	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
Notchシグナルの核内転写因子RBP-Jk抑制によるグリオーマ幹細胞の制御	田中 慎吾	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
微弱磁場冷却装置を使用した新しい移植腎保存法の基礎的研究	木村 圭一	附属病院	670,000	補委	日本学術振興会
乳癌患者におけるタモキシフェン投与の子宮内膜着床能に及ぼす影響と作用機序の解析	山崎 玲奈	附属病院	500,000	補委	日本学術振興会
リンパ管奇形に対する漢方薬による制御メカニズムの解明	小川 恵子	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
心停止後症候群モデルにおけるケミカルシャペロンの効果	岡島 正樹	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
口腔癌の高浸潤性獲得メカニズムと微小管の関連解析	北原 寛子	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
膝蓋大腿関節症モデルラットの確立と力学的負荷がもたらす病理組織学的変化	高橋 郁文	附属病院	1,150,000	補委	日本学術振興会
次世代シーケンサーを用いた家族性肥大型心筋症の新たな病態発症メカニズムの解明	野村 章洋	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
再生不良性貧血を発症させるT細胞シグナルパスウェイの同定	細川 晃平	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
Emery-Dreifuss型筋ジストロフィーの核膜構造と核内Ca動態の検討	下島 正也	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
極低出生体重児における神経発達障害と脳内ネットワークの関連	三谷 裕介	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
皮膚筋炎におけるFcγRIIBの役割について検討	八木 夏希	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会

(¥28,520,000)
小計 28件

肺癌における血管外血小板凝集とMicroRNA21を介した進展の検討	山口 貴久	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
自己の腹膜を利用した腹膜メッシュによる消化管再建の基礎的研究	森山 秀樹	附属病院	600,000	補委	日本学術振興会
脳腫瘍を構成する細胞群におけるAquaporin-1発現意義の解明と新規治療戦略	大石 正博	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
神経膠腫におけるエクソソーム解析とNegr1による新規治療の開発	筒井 泰史	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌の去勢抵抗性獲得機序としてのARIによるCCL2制御機構の解明	野原 隆弘	附属病院	2,000,000	補委	日本学術振興会
クラインフェルター症候群により解明かされるX染色体の精子形成遺伝子群	飯島 将司	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
頭頸部癌PDXモデルを用いた新規バイオマーカーの確立と治療効果予測への応用	上野 春菜	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
末梢白血球遺伝子情報に基づく慢性腎臓病における睡眠覚醒障害の検討	北島 信治	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
統合失調症の急性期におけるオープンダイアログを用いた介入について	金田 礼三	附属病院	970,000	補委	日本学術振興会
地域における主観的認知障害とApoE E4とアルツハイマー病発症との関連	柚木 颯憐	附属病院	530,000	補委	日本学術振興会
乳がん術前又は術後補助化学療法施行時のステロイド前投薬の骨代謝系への影響の検討	志村 裕介	附属病院	400,000	補委	日本学術振興会
帳票作成機能を有するレジメン管理システムの構築と有用性の評価	三坂 恒	附属病院	430,000	補委	日本学術振興会
造血幹細胞移植後の赤血球系造血不全と赤血球前駆細胞のキメラリズムとの関連性の検討	内海 真紀	附属病院	420,000	補委	日本学術振興会
癌幹細胞により制御される肝臓間質細胞社会の解明	山下 太郎	附属病院	5,000,000	補委	日本学術振興会
肝腫瘍画像診断の標準化法における病理組織学的根拠の確立とテクニカル解析の応用	五十嵐 紗耶	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
MMPsを介したヒト頭頸部扁平上皮癌の微小環境におけるPD-L1の調節機構	宮澤 真優子	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
ウェアラブルセンサーを用いた思春期うつ状態の早期発見	小野 靖樹	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
マクロファージ活性化症候群の病態解明とIL-18を標的とした新規治療法の確立	清水 正樹	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
潰瘍性大腸炎における移植便中細菌の定着に関わる免疫機構の研究	北村 和哉	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
CD271陽性細胞の血管リモデリング制御機能の解析	高島 伸一郎	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
遺伝性不整脈の新規原因遺伝子の同定と不整脈発症機序の解明および有効治療薬の決定	林 研至	附属病院	550,000	補委	日本学術振興会
IgG4関連腎臓病への自然免疫の関わり方の解明と新規治療ターゲットの探索	伊藤 清亮	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
難治性再生不良性貧血におけるトロンボポエチン受容体作動薬の効果反応予測因子の同定	山崎 宏人	附属病院	1,200,000	補委	日本学術振興会
MRSAの網羅的遺伝子情報に基づいたバイオフィルム形成過程の病態解明	岩田 恭宜	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
内胸動脈周囲組織がグラフト血管内皮機能に与える影響に関する研究	飯野 賢治	附属病院	700,000	補委	日本学術振興会
人工呼吸中の患者とのコミュニケーション方法と精神ストレス指標の確立	佐藤 康次	附属病院	1,450,000	補委	日本学術振興会
多孔質足場とフローダイバーターによる動脈瘤の血栓化および開口部新生内膜の誘導実験	内山 尚之	附属病院	800,000	補委	日本学術振興会
骨肉腫幹細胞モデルにおけるmiR-34aの役割と治療ターゲットの可能性の解析	武内 章彦	附属病院	1,350,000	補委	日本学術振興会
血小板の上皮化促進作用に対する子宮体癌の不応性獲得機序の解明とその責任分子の同定	明星 須晴	附属病院	550,000	補委	日本学術振興会
進行性下顎頭吸収の病態と発症原因の解明	大井 一浩	附属病院	1,180,000	補委	日本学術振興会

(¥34,430,000)
小計 30件

医師養成課程における臨床実習後客観的臨床能力試験の信頼性向上に関する研究	野村 英樹	附属病院	3,170,000	補委	日本学術振興会
ケン食による薬物動態変動に対する分子生物学的影響と薬物速度論的影響の解明	赤下 学	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
腫瘍免疫における制御性B細胞の役割および作用機序についての解析	小林 忠弘	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
世界最速の高速原子間力顕微鏡によるAβ凝集体の形成過程の解明	中野 博人	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
腸管虚血再灌流における腸管組織酸素飽和度の画像化と予後予測への応用	小森 隆弘	附属病院	1,000,000	補委	日本学術振興会
有限要素法シミュレーションによるEVAR術後の長期的影響に関する流体力学的解明	濱口 隆史	附属病院	2,200,000	補委	日本学術振興会
光音響イメージングを用いた脳組織酸素飽和度画像化による脳虚血予測への応用	出雲崎 晃	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
血管内皮細胞が肝臓がん・再発に関わるメカニズムの解明	西川 昌志	附属病院	1,700,000	補委	日本学術振興会
薬剤溶出性ステント留置後の血管修復反応の観察(動物実験モデルでの検証)	森 雅之	附属病院	2,000,000	補委	日本学術振興会
エリート脂肪幹細胞を用いた新規microRNAの同定と血管新生療法への応用	井上 己音	附属病院	2,500,000	補委	日本学術振興会
癌転移における好中球細胞外トラップ(NETs)の機能解析	岡崎 充善	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
変動磁場冷却保存装置による大動物の帯度以下心臓保存法の研究	加藤 寛城	附属病院	1,100,000	補委	日本学術振興会
くも膜下出血後 EBI と小胞体ストレス応答 UPR の関連についての検討	吉川 陽文	附属病院	1,400,000	補委	日本学術振興会
オリジナルの脂肪由来幹細胞シートを用いた骨欠損再建法の開発	宇賀治 修平	附属病院	1,800,000	補委	日本学術振興会
男性尿路ヒトパピローマウイルス感染の自然史の解明	中嶋 一史	附属病院	1,900,000	補委	日本学術振興会
マウス胎盤形成時の脱落膜に出現する新規のGFAP/S100β陽性細胞の機能解析	鏡 京介	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
凝固系カスケードを利用した卵巣癌細胞集塊の腹膜腫瘍転移機序の解明	松岡 歩	附属病院	1,800,000	補委	日本学術振興会
Laeverinを指標とした胎児・胎盤循環幹細胞の機能解析	松本 多圭夫	附属病院	1,500,000	補委	日本学術振興会
発達期聴覚中枢におけるミクログリアに焦点をあてた自閉症モデルマウスの解析	野田 昌生	附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
顎関節症滑膜炎誘導機構の解明	小林 一彦	附属病院	1,600,000	補委	日本学術振興会
がん抑制遺伝子HNF-4αの再活性化による肝がん分化誘導療法の研究	山下 太郎	附属病院	2,400,000	補委	日本学術振興会
発癌と炎症を促進するEnterococcus属を取り巻く腸内環境の解明	飯田 宗穂	附属病院	900,000	補委	日本学術振興会
高齢者の水のホメオスタシス(恒常性維持)と高齢者骨格筋のニュー・コンセプト	杉本直俊	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
Brain-lipid sensingからみた生活習慣病のメカニズム解明	山嶋哲盛	医学系	500,000	補委	日本学術振興会
社会的相互作用によるオキシトシンの分泌が、児童の認知機能に与える影響	齋藤大輔	子どものこころの発達研究センター	700,000	補委	日本学術振興会
遠隔シミュレーション教育の効果検証～チームダイナミクスと指導者育成の観点から～	太田邦雄	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
脂肪組織を用いた心不全再生医療に重要なサイトカイン抑制型因子の同定	高村雅之	医学系	500,000	補委	日本学術振興会
糖尿病関連ヘトカインを制御する新規鍵転写因子の同定	御簾博文	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
IVR技術による標的組織の微小循環系の制御を利用した抗腫瘍療法の開発	香田涉	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜腫瘍における組織内IL-17産生細胞の機能解析と造腫瘍性についての検討	伏田幸夫	医学系	900,000	補委	日本学術振興会

(¥41,770,000)
小計 30件

Wnt/ β -catenin経路を介した分子標的治療の開発と抗腫瘍メカニズムの解明	山本憲男	医薬保健学総合研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
糖化ストレスによる骨治癒遅延メカニズムの解明と新規治療薬の開発	松原秀憲	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
去勢抵抗性前立腺癌のドセタキセルとカバジタキセル耐性化の機序とその克服	角野佳史	医学系	100,000	補委	日本学術振興会
新しい角膜内皮移植(DMEK/DMAEK/PDEK)の確立とドナー接着機構の解明	小林顕	医学系	500,000	補委	日本学術振興会
脂肪由来幹細胞の細胞シートによる末梢神経の再生に関する研究	多田薫	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
大腸癌における腫瘍関連マクロファージの発現解析と治療への応用	稲垣聡子	医薬保健学総合研究科	800,000	補委	日本学術振興会
慢性肝炎患者の生体から獲得される脂肪組織由来間葉系幹細胞の肝修復再生能解析	酒井佳夫	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
肺癌におけるMet遺伝子を標的とした個別化療法の確立	笠原寿郎	医学系	900,000	補委	日本学術振興会
地域高齢者におけるプレグニカルCAAに関する前向き縦断研究	篠原もえ子	医学系	900,000	補委	日本学術振興会
IgG4関連疾患における自然免疫の役割と新規治療ターゲットの探索	山田和徳	医薬保健学総合研究科	810,000	補委	日本学術振興会
CIK細胞と培養肥満細胞を併用し人為的抗腫瘍効果を増強させた造血幹細胞移植の開発	荒木来太	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
全身性強皮症におけるEffector B細胞の役割についての検討	竹原和彦	医学系	550,000	補委	日本学術振興会
肝腫瘍に対する局所ならびに肝動脈内免疫賦活因子注入による抗腫瘍効果についての研究	蒲田敏文	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
膵癌組織内で構築される免疫寛容・転移促進の分子基盤の解明と新規治療法の開発	太田哲生	医学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
次世代覚醒下脳手術を応用した共感性ネットワークの解明と温存	木下雅史	医学系	900,000	補委	日本学術振興会
放射線照射が脊髄転移の局所進展様式に与える影響 -特に硬膜バリア機構に着目して-	村上英樹	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
骨軟部腫瘍切除後欠損に対する脂肪由来幹細胞再生医療の新たなアプローチ	林克洋	医薬保健学総合研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
新規末梢血癌細胞検出法を応用した泌尿器癌転移に関するバイオマーカーの開発	北川育秀	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
免疫チェックポイントを標的とした去勢抵抗性前立腺癌に対する複合がん免疫療法の構築	小中弘之	医学系	350,000	補委	日本学術振興会
眼圧日内変動リズムにおける発振メカニズムの解明	杉山和久	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
口腔癌浸潤先端部微小環境での腫瘍免疫抑制機構の解明	中村博幸	医学系	1,070,000	補委	日本学術振興会
患者B細胞を用いたモノクローナル抗体作製とその臨床応用	高松博幸	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
重症筋無力症の病態における免疫チェックポイント分子の関与と新たな治療薬への応用	岩佐和夫	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
マウスモデルを用いた膵臓癌における宿主免疫応答解明による新規免疫療法の開発	小村卓也	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
DOCK11ノックダウンによりcccDNA排除の新規抗HBV治療応用への基礎研究	李影奕	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
肝がんのがんエクソソーム解析に基づく新規治療標的分子探索	山下竜也	先進予防医学研究センター	550,000	補委	日本学術振興会
家族性高コレステロール血症網羅的遺伝子解析スキームの樹立	山岸正和	医学系	500,000	補委	日本学術振興会
心房細動における心腎連関の機序解明	加藤武史	先進予防医学研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
免疫沈降法による膠原病患者血清中の自己抗体の同定と臨床的特徴の検討	濱口儒人	医学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
骨組織におけるインスリン・IGF1シグナル抵抗性とセリンプロテインPの関係	石井清朗	医薬保健学総合研究科	1,400,000	補委	日本学術振興会

(¥28,330,000)
小計 30件

院外心停止に対する高齢化社会に適した現場蘇生中止基準の開発に関する研究	後藤由和	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
頭頸部密着細胞環腫瘍細胞の量的質的解析を目的とした捕捉チップ開発に関する研究	吉崎智一	医学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
初期ヒト絨毛膜由来の胎児体内循環幹細胞の同定と機能解析	藤原浩	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
肝臓-骨格筋連関を標的とした運動効果増強薬の開発	篁俊成	医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
高次脳機能局在に基づく右前頭葉腫瘍に対する摘出限界策定の試み	中田光俊	医学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
M蛋白血症に起因する軽鎖結晶蓄積性組織球症による腎障害の病態解析と治療開発	原怜史	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
腫瘍血管の成熟性を評価可能な光音響イメージングの腫瘍放射線医学への応用	吉田耕太郎	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌のリンパ球浸潤におけるヒト内在性レトロウイルスの関与	阿河光治	医学系	900,000	補委	日本学術振興会
アカントアメーバ角膜炎の超早期診断法の開発と発症機序の解明	森奈津子	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
慢性炎症を背景とした肝臓がん・再発機序の解明	岡田光	医学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌に対する腫瘍局所の抗腫瘍免疫反応の意義の解明	寺島健志	先進予防医学研究センター	900,000	補委	日本学術振興会
新規ミトコンドリア関連分子USMG5が拡張型心筋症の発症進展に与える機序の解明	永田庸二	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
膠原病で検出された160kDaタンパクに対する自己抗体の抗原解析	藤木明子	医学系	600,000	補委	日本学術振興会
精神疾患死後脳における分子発現変化の脳内分布解明のための内部標準遺伝子同定	川端梨加	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
強迫的行動促進の神経基盤	西川宏美	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
膵芽腫細胞株におけるEphB4受容体のシグナル解析及び前臨床試験	河原庸介	医学系	1,900,000	補委	日本学術振興会
児童青年期の強迫性障害に対する家族介入を伴う認知行動療法の有効性の検討	紺谷恵子	医学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症児における対話活動中の脳内ダイナミズム:母親と他者との比較研究	長谷川千秋	子どものこころの発達研究センター	2,100,000	補委	日本学術振興会
がん微小環境における線維芽細胞の細胞老化を介した腫瘍制御に関する基礎的研究	岡本浩一	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
便細菌叢移植による腸内細菌叢の変化	岡藤啓史	医薬保健学総合研究科	1,100,000	補委	日本学術振興会
抗原特異的T細胞受容体を用いた肝臓治療に関する検討	玉井利克	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌悪性性質獲得に寄与するBMP9分子機構の解明と新規治療法の開発	丹尾幸樹	医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
新規骨髄由来線維化誘導細胞を介したANCA関連血管炎における臓器線維化機序の解明	相良明宏	医学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
皮膚虚血再灌流障害モデルにおけるサイトカインの役割の研究	前田進太郎	医学系	2,200,000	補委	日本学術振興会
ヘパトカインセレンプロテインPによる適応熱産生障害機構の解明	高山浩昭	医学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
難治疾患の肝VODにおけるTMA病態関与の解明と新規治療法の開発	中沼伸一	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
感染によるAPOBEC発現を介した遺伝子変異誘導とCIN進行機構の解明	飯塚崇	医学系	1,500,000	補委	日本学術振興会
子宮体部類内膜癌に対するFoxp4転写因子の増悪化誘導作用の検証とその機序の解明	小幡武司	医学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
咽頭上皮におけるEBウイルスによるオートファジー誘導の生物学的意義の解明	石川和也	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
高転移性高浸潤性口腔癌の微小環境での腫瘍免疫調節機構の解明	平井真理子	医学系	1,600,000	補委	日本学術振興会

(¥38,400,000)
小計 30件

PETを用いたウェイトリフティング競技における全身骨格筋活動の検索	高田泰史	医学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
肝硬変における炎症細胞社会の解明	金子周一	医学系	13,800,000	補委	日本学術振興会
進行性腎障害における慢性炎症の意義とそれに即した分子予防学の構築	和田隆志	医学系	11,100,000	補委	日本学術振興会
内分泌器官としての肝臓病の確立	金子周一	医学系	2,750,000	補委	日本学術振興会
進行消化器癌に対するα線核種内照射療法による治療戦略の確立	絹谷清剛	医学系	4,400,000	補委	日本学術振興会
上咽頭癌癌ならびに多様性獲得分子機構の解析と新規治療法の開発	吉崎智一	医学系	11,900,000	補委	日本学術振興会
オミクス情報を駆使した全身型特発性関節炎分子病態の解明と先制医療開発	谷内江昭宏	医学系	800,000	補委	日本学術振興会
肝細胞がんの多様性・変幻性におけるMT1-MMP依存性分子経路の解析	清木元治	医学系	300,000	補委	日本学術振興会
再生不良性貧血におけるクローン性造血機序の解明	中尾眞二	医学系	3,200,000	補委	日本学術振興会
統合失調症の認知機能障害とバルブアルブミン陽性細胞のオキシシグナル	橋本隆紀	医学系	2,700,000	補委	日本学術振興会
嗜好食品による抗老化作用と認知機能促進の分子基盤及び機能的形態学的機序の解明	杉本直俊	医学系	2,000,000	補委	日本学術振興会
Aβ凝集体の個体間伝播とその防御に関する研究	山田正仁	医学系	1,900,000	補委	日本学術振興会
酸化・還元バランスの破綻による糖尿病病態形成機構の解明	篁俊成	医学系	2,900,000	補委	日本学術振興会
統合失調症における免疫炎症過程亢進と大脳皮質ニューロンの変化	三辺義雄	医学系	3,000,000	補委	日本学術振興会
自閉スペクトラム症幼児の症状多様性に対応する生物学的指標の検討	菊知充	子どものこころの発達研究センター	2,800,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌微小環境内での細胞間クロストークをターゲットとした革新的治療薬の開発	溝上敦	医学系	3,400,000	補委	日本学術振興会
免疫系を介した胚着床誘導機構の解明ー胚シグナルの同定と機能解析ー	藤原浩	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
Epstein-Barrウイルスによる細胞老化関連分泌質誘導機構の解明	脇坂尚宏	医学系	3,700,000	補委	日本学術振興会
肝細胞癌におけるネオアンチゲンの同定と遺伝子改変T細胞による免疫療法の開発	水腰英四郎	医学系	5,700,000	補委	日本学術振興会
悪性神経膠腫由来のエクソソームを介したミクログリアによる微小環境整備の解明	中田光俊	医学系	5,300,000	補委	日本学術振興会
アジア、オセアニアの高齢糖尿病性腎症、腎硬化症のバイオマーカー、予後の国際比較	和田隆志	医学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
高骨親和性新規プラチナ製剤を用いたシスプラチン抵抗性難治性骨肉腫の新規治療開発	五十嵐健太郎	医薬保健学総合研究科	1,200,000	補委	日本学術振興会
リハビリテーション技術確立のための運動学習における行動柔軟性に関する基礎研究	米田 貢	保健学系	600,000	補委	日本学術振興会
関節不動に伴う筋線維芽細胞の発現と治療手技の効果判定	松崎 太郎	保健学系	700,000	補委	日本学術振興会
長軸部位を考慮した廣用性筋萎縮予防介入の効果検証	山崎 俊明	保健学系	600,000	補委	日本学術振興会
認知症の方の快適な身体活動と介護者の負担軽減につながる動作誘導・介助法を提案する	横川 正美	保健学系	950,000	補委	日本学術振興会
グラビティMRIによる臨床用頭蓋内環境モニタリング法の確立	宮地 利明	保健学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
低線量X線動画像イメージングによる肺機能診断法の開発	田中 利恵	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
間歇性跛行を有する患者の血行再建後の振動ケアがもたらす重症虚血肢移行遅延の検討	大桑 麻由美	保健学系	440,000	補委	日本学術振興会
膠原病患者の運動中の心機能応答についての縦断的研究	染矢 富士子	保健学系	700,000	補委	日本学術振興会

(¥92,340,000)
小計 30件

ラット廃用性関節拘縮・筋萎縮モデルにおける疼痛関連物質発現に関する研究	中川 敬夫	保健学系	550,000	補委	日本学術振興会
急性相反応物質としてのFactor XIII-Aの活性化と創傷治癒機構の作動	杉谷 加代	保健学系	900,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞由来ヒト造血幹細胞を用いた自己免疫性造血不全の発症機序の解明	片桐 孝和	保健学系	1,300,000	補委	日本学術振興会
心電図同期心筋SPECT画像の精度管理を目的とした三次元心臓動態ファントムの開発	小野口 昌久	保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
肥大型心筋症および類縁疾患の発症・進展・予後に関する分子遺伝学的研究	藤野 陽	保健学系	1,560,000	補委	日本学術振興会
デュアルエネルギーCTのエネルギー領域に対応した人体組織等価ファントム物質の開発	市川 勝弘	保健学系	1,400,000	補委	日本学術振興会
拡散・造影MRIとディープラーニングを併用したスーパーハイブリッド乳癌悪性度解析	川島 博子	保健学系	450,000	補委	日本学術振興会
IgG4関連血管病の進展・予後因子の解明	笠島 里美	保健学系	900,000	補委	日本学術振興会
ウロコ骨折モデルによる破骨細胞産生新規カプリング因子の同定と分泌時相の解明	北村 敬一郎	保健学系	1,000,000	補委	日本学術振興会
ヘムオキシゲナーゼ1が造血幹細胞移植後治療成績におよぼす効果と新規治療戦略	森下 英理子	保健学系	1,580,000	補委	日本学術振興会
進行肝臓病患者に対するMRIを用いた早期肝細胞癌スクリーニング手技の確立	小林 聡	保健学系	1,600,000	補委	日本学術振興会
CT撮影における多段階線量評価法の開発と評価	松原 孝祐	保健学系	1,850,000	補委	日本学術振興会
プロテインS/Mer受容体型チロシキナーゼによる妊娠維持機構の解明	關谷 暁子	保健学系	1,080,000	補委	日本学術振興会
乳児の泣きに着目した育児支援プログラムの効果検証	田淵 紀子	保健学系	795,000	補委	日本学術振興会
周産期女性のウェルネスケアシステム構築と血中ストレス関連物質濃度に基づく効果の検証	関塚 真美	保健学系	670,000	補委	日本学術振興会
超音波画像を利用した新規無侵襲性筋力推定法開発の試み	三秋 泰一	保健学系	530,000	補委	日本学術振興会
揺動MRIによる脳腫瘍のバイオメカニクス評価法の確立	大野 直樹	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
肝疾患におけるIFN λ 4の機能的役割の解明	白崎 尚芳	保健学系	800,000	補委	日本学術振興会
近接ジオメトリ型超高分解度CTの開発	川嶋 広貴	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
2型糖尿病患者が家族サポート感取・対応力を発揮するための患者教育プログラムの開発	堀口 智美	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
産後の授乳姿勢が母体の筋力と姿勢アラメントに与える影響と改善プログラムの開発	小西 佳世乃	保健学系	500,000	補委	日本学術振興会
小動物SPECT・PET同時測定法における物理現象の解明と定量評価法の確立	澁谷 孝行	保健学系	1,800,000	補委	日本学術振興会
糖尿病ラットの廃用性筋萎縮回復過程における運動効果	間所 祥子	保健学系	1,100,000	補委	日本学術振興会
X線動画イメージングによる胸郭・横隔膜運動ならびに肺機能評価の試み	田中 利恵	保健学系	1,700,000	補委	日本学術振興会
NAFLD/NASH肝組織リン酸化活性化プロファイリングと新規治療標的分子の同定	本多 政夫	保健学系	2,950,000	補委	日本学術振興会
感情識別機能の術後回復に伴う神経ネットワーク再編成メカニズムの解明	中嶋 理帆	保健学系	4,000,000	補委	日本学術振興会
母子分離の母親のオキシトシンレベルと子どもへの愛着形成に関する研究	南 香奈	保健学系	1,200,000	補委	日本学術振興会
肺がんの髄膜がん腫瘍における分子標的薬耐性を克服する研究	矢野 聖二	がん進展制御研究所	3,800,000	補委	日本学術振興会
miR-200sを標的とした肺癌のEMTに起因するTKI耐性克服治療の開発	福田 康二	がん進展制御研究所	1,000,000	補委	日本学術振興会
代謝酵素ゲノム編集による食道扁平上皮の易発がん状態誘発の試み	源 利成	がん進展制御研究所	2,300,000	補委	日本学術振興会

(¥39,615,000)
小計 30件

NTRK1融合遺伝子陽性腫瘍の分子標的薬耐性の分子機構解明と克服を目指す基礎研究	西山 明宏	がん進展制御研究所	2,200,000	補委	日本学術振興会
ALK融合遺伝子陽性肺癌におけるアポトーシス抵抗性因子の解明と克服治療の開発	谷本 梓	がん進展制御研究所	2,100,000	補委	日本学術振興会
Investigation of putative roles for GSK3b in glioblastoma stemness phenotype and the underlying biological mechanisms	Pyko Ilya	がん進展制御研究所	1,900,000	補委	日本学術振興会
GSK3βが制御するがん特異的エネルギー獲得機構の解明とがん治療への応用	堂本 貴寛	がん進展制御研究所	1,600,000	補委	日本学術振興会
肝炎ウイルス感染状況と感染後の長期経過に関する研究	島上 哲朗	附属病院	1,000,000	補委	厚生労働省
肝炎の病態評価指標の開発と肝炎対策への応用に関する研究	島上 哲朗	附属病院	5,000,000	補委	厚生労働省
臓癌等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化に向けた研究	島上 哲朗	附属病院	350,000	補委	厚生労働省
自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	朝倉 英策	附属病院	500,000	補委	厚生労働省
副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	武田 仁勇	附属病院	450,000	補委	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準向上及び患者のQOL向上に関する大規模施設研究	加畑 多文	附属病院	100,000	補委	厚生労働省
IgG関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	川野 充弘	附属病院	600,000	補委	厚生労働省
自己免疫疾患に関する調査研究	清水 正樹	附属病院	500,000	補委	厚生労働省
小児期遺伝性不整脈疾患の睡眠中突然死予防に関する研究	林 研至	附属病院	50,000	補委	厚生労働省
先天異常症候群領域の指定難病等のQOLの向上を目指す包括的研究	渡邊 淳	附属病院	800,000	補委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	出村 諭	附属病院	250,000	補委	厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	山田 正仁	医学系	31,347,000	補委	厚生労働省
地域に応じた肝炎ウイルス診療連携体制構築の立案に資する研究	金子 周一	医学系	10,750,000	補委	厚生労働省
指定難病の普及・啓発に向けた統合研究	和田 隆志	医学系	16,000,000	補委	厚生労働省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	谷内江 昭宏	医学系	500,000	補委	厚生労働省
原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドラインの確立に関する研究	谷内江 昭宏	医学系	1,100,000	補委	厚生労働省
慢性活動性EBウイルス感染症と類縁疾患の疾患レジストリとバイオバンクの構築	谷内江 昭宏	医学系	750,000	補委	厚生労働省
難治性血管炎に関する調査研究	和田 隆志	医学系	144,000	補委	厚生労働省
難治性腎障害に関する調査研究	和田 隆志	医学系	750,000	補委	厚生労働省
腎臓病データベースの拡充・連携強化と包括的データベースの構築	和田 隆志	医学系	500,000	補委	厚生労働省
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究	竹原 和彦	医学系	200,000	補委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	村上 英樹	医学系	250,000	補委	厚生労働省
特発性造血障害に関する調査研究	中尾 眞二	医学系	500,000	補委	厚生労働省
アミロイドーシスに関する調査研究	山田 正仁	医学系	200,000	補委	厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	山田 正仁	医学系	700,000	補委	厚生労働省
原発性高脂血症に関する調査研究	川尻 剛照	医学系	200,000	補委	厚生労働省

(¥81,291,000)
小計 30件

血液凝固異常症等に関する研究	森下 英理子	保健学系	1,100,000	補 委	厚生労働 省
特発性心筋症に関する調査研究	藤野 陽	保健学系	350,000	補 委	厚生労働 省
3学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」に関する教育と正しい情報伝達に関する研究	矢野 聖二	がん進展制御研究 所	300,000	補 委	厚生労働 省

(¥1,750,000)
小計 3件

(¥410,946,000)
計 270件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Terashima T, Yamashita T, Sunagozaka H 他	消化器内科	Analysis of the liver functional reserve of patients with advanced hepatocellular carcinoma undergoing sorafenib treatment: prospects for regorafenib therapy.	Hepatol Res. 2018 Nov;48(12):956-966.	Original Article
2	Kawaguchi K, Honda M, Ohta H 他	消化器内科	Serum Wisteria floribunda agglutinin-positive Mac-2 binding protein predicts hepatocellular carcinoma incidence and recurrence in nucleos(t)ide analogue therapy for chronic hepatitis B.	J Gastroenterol. 2018 Jun;53(6):740-751.	Original Article
3	Terashima T, Yamashita T, Sakai A 他	消化器内科	Treatment patterns and outcomes of unresectable pancreatic cancer patients in real-life practice: a region-wide analysis.	Jpn J Clin Oncol. 2018 Nov 1;48(11):966-973.	Original Article
4	Komura T, Yano M, Miyake A 他	消化器内科	Immune Condition of Colorectal Cancer Patients Featured by Serum Chemokines and Gene Expressions of CD4+ Cells in Blood.	Can J Gastroenterol Hepatol 2018 Jun; 7436205	Original Article

4件

5	Kitano T, Usui S, Takashima SI 他	循環器内科	Sphingosine-1-phosphate receptor 1 promotes neointimal hyperplasia in a mouse model of carotid artery injury.	Biochem Biophys Res Commun 2019, 511,1,179-184	Original Article
6	Usui S, Chikata A, Takatori O 他	循環器内科	Endogenous muscle atrophy F-box is involved in the development of cardiac rupture after myocardial infarction.	J Mol Cell Cardiol. 2019 ,126,1,1-12	Original Article
7	Kanamori N, Kato T, Sakagami S 他	循環器内科	Optimal lesion size index to prevent conduction gap during pulmonary vein isolation.	J Cardiovasc Electrophysiol 2018 ,29,12,1616-1623	Original Article
8	Okabe Y, Otowa K, Mitamura Y 他	循環器内科	Evaluation of the risk factors for ventricular arrhythmias secondary to QT prolongation induced by papaverine injection during coronary flow reserve studies using a 4 Fr angio-catheter.	Heart Vessels 2018 ,33,11,1358-1364	Original Article
9	Yamamoto K, Yamamoto T, Takamura M 他	循環器内科	Effects of mineralocorticoid receptor antagonists on responses to hemorrhagic shock in rats.	World J Crit Care Med 2018,7,1,1-8	Original Article

5件

10	Chadani H, Usui S, Inoue O 他	循環器内科	Endogenous Selenoprotein P, a Liver-Derived Secretory Protein, Mediates Myocardial Ischemia/Reperfusion Injury in Mice.	Int J Mol Sci. 2018, 19,3,E878	Original Article
11	Inazu A.	循環器内科	HDL3 Cholesterol Levels in an Elderly Population (Editorial).	J Atheroscler Thromb 2018,25(1):40-41	Original Article
12	Miyachi K, Ihara M, Ishikawa T 他	循環器内科	Two long-term follow-up cases preventing atherosclerosis by hormone replacement therapy- CETP deficiency and Tangier disease.	Biomed J Sci & Tech Res 2018.09.001868,5p, DOI: 10.26717/BJSTR.	Original Article
13	Fujino N, Hayashi K, Sakata K 他	循環器内科	Phenotype and Prognosis of the Lamin A/C Gene (LMNA) Mutation Carriers in Japan.	Circ J 2018,82(11):2699-700	Original Article
14	Nohara A, Ohmura H, Okazaki H 他	循環器内科	Statement for Appropriate Clinical Use of PCSK9 Inhibitors	J Atheroscler Thromb 2018, 25(8):747-750	Original Article

5件

15	Kawashiri MA, Tada H, Yamagishi M.	循環器内科	Unsolved Antiatherogenic Mechanism of n-3 Polyunsaturated Fatty Acids.	Circ J. 2018,82(2):332-333	Original Article
16	Kawashiri MA, Tada H, Nomura A 他	循環器内科	Mendelian randomization: Its impact on cardiovascular disease.	J Cardiol. 2018,72(4):307-313	Original Article
17	Hayashi K, Tsuda T, Nomura A 他	循環器内科	Impact of B-Type Natriuretic Peptide Level on Risk Stratification of Thromboembolism and Death in Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation - The Hokuriku-Plus AF Registry.	Circ J. 2018,82(5):1271-1278	Original Article
18	Nakahashi T, Tada H, Sakata K 他	循環器内科	Paradoxical impact of decreased low-density lipoprotein cholesterol level at baseline on the long-term prognosis in patients with acute coronary syndrome.	Heart Vessels. 2018 33(7):695-705	Original Article
19	Nakahashi T, Tada H, Sakata K 他	循環器内科	Additive Prognostic Value of Carotid Plaque Score to Enhance the Age, Creatinine, and Ejection Fraction Score in Patients with Acute Coronary Syndrome.	J Atheroscler Thromb 2018,25(8):709-719	Original Article

5件

20	Teramoto R, Fujino N, Konno T 他	循環器内科	Late Gadolinium Enhancement for Prediction of Mutation-Positive Hypertrophic Cardiomyopathy on the Basis of Panel-Wide Sequencing.	Circ J. 2018,82(4):1139-1148	Original Article
21	Masuda J, Kishi M, Kumagai N 他	循環器内科	Rural-Urban Disparity in Emergency Care for Acute Myocardial Infarction in Japan.	Circ J. 2018,82(6):1666-1674	Original Article
22	Murai K, Sakata K, Mabuchi T 他	循環器内科	Very late bare metal stent thrombosis in the setting of discontinuation of optimal medical therapy for 2 years.	Cardiovasc Diagn Ther. 2018, 8(2):186-189	Original Article
23	Funada A, Goto Y, Tada H 他	循環器内科	Duration of cardiopulmonary resuscitation in patients without prehospital return of spontaneous circulation after out-of-hospital cardiac arrest: Results from a severity stratification analysis.	Resuscitation. 2018, 124(3):69-75	Original Article
24	Funada A, Goto Y, Tada H 他	循環器内科	Effects of prehospital epinephrine administration on neurologically intact survival in bystander-witnessed out-of-hospital cardiac arrest patients with non-shockable rhythm depend on prehospital cardiopulmonary resuscitation duration required to hospital arrival.	Heart and vessels 2018,33(12):1525-1533	Original Article

5件

25	Tada H, Inaba S, Pozharitckaia D 他	循環器内科	Prominent Tendon Xanthomas and Abdominal Aortic Aneurysm Associated with Cerebrotendinous Xanthomatosis Identified Using Whole Exome Sequencing	Intern Med. 2018,57(8):1119-1122	Original Article
26	Tada H, Kawashiri MA, Nohara A 他	循環器内科	Assessment of arterial stiffness in patients with familial hypercholesterolemia	J Clin Lipidol. 2018,12(2):397-402	Original Article
27	Tada H, Kawashiri MA, Nohara A 他	循環器内科	Remnant-like particles and coronary artery disease in familial hypercholesterolemia	Clin Chim Acta 2018,482:120-123	Original Article
28	Tada H, Nohara A, Inazu A 他	循環器内科	Sitosterolemia, Hypercholesterolemia, and Coronary Artery Disease	J Atheroscler Thromb 2018,5(9):783-789	Original Article
29	Tada H, Nomura A, Yamagishi M 他	循環器内科	First case of sitosterolemia caused by double heterozygous mutations in ABCG5 and ABCG8 genes	J Clin Lipidol 2018,12(5):1164-1168	Original Article

5件

30	Tada H, Kawashiri MA, Nomura A 他	循環器内科	Serum triglycerides predict first cardiovascular events in diabetic patients with hypercholesterolemia and retinopathy	Eur J Prev Cardiol. 2018,25(17):1852-1860	Original Article
31	Tada H, Nomura A, Okada H 他	循環器内科	Clinical whole exome sequencing in severe hypertriglyceridemia	Clin Chim Acta 2018,488:31-39	Original Article
32	Tada H, Kawashiri MA, Yasuda K 他	循環器内科	Associations between questionnaires on lifestyle and atherosclerotic cardiovascular disease in a Japanese general population: A cross-sectional study	PLoS One 2018,13(11):e0208135	Original Article
33	Tsuda T, Tada H, Tanaka Y 他	循環器内科	Amidarone-induced reversible anr irreversible hepatotoxicity: two case reports.	J Med Case Rep. 2018, 12(1):95	Original Article
34	Karashima S, Tsuda T, Kometani M 他	循環器内科	Severe Mitral Regurgitation As a Result of Rupture of Mitral Valve Chordae Tendineae in a Patient With Graves Disease.	J Endocr Soc. 2018, 2(11):1246-1250	Original Article

5件

35	Nomura A, Tada H, Nohara A 他	循環器内科	Phenotypic consequences of a genetic predisposition to enhanced nitric oxide signaling	Circulation. 2018, 137 (3): 222-232	Original Article
36	Nomura A, Tada H, Okada H 他	循環器内科	Analysis of predicted loss-of-function variants in UK Biobank identifies variants protective for disease	Nat commun 2018,9(1): 1613	Original Article
37	Yoshida S, Nakanishi C, Okada H 他	循環器内科	Oral Fat Tolerance Test for Sitosterolemia and Familial Hypercholesterolemia: A Study Protocol	J Atheroscler Thromb 2018,25(8):741-746	Original Article
38	Okada H, Tada H, Hayashi K 他	循環器内科	Aortic Root Calcification Score as an Independent Factor for Predicting Major Adverse Cardiac Events in Familial Hypercholesterolemia.	J Atheroscler Thromb 2018,25(7):634-642	Original Article
39	Tanaka Y, Yoshimuta T, Kimura K 他	循環器内科	Clinical characteristics of spontaneous visceral artery dissection.	J Vasc Surg. 2018, 67(4):1127-1133	Original Article

5件

40	Tanaka Y, Tada H, Takeda Y 他	循環器内科	A Case of Spontaneous Isolated Superior Mesenteric Artery Dissection Requiring Emergent Surgery.	Intern Med. 2018, 57(18):2681-2684	Original Article
41	Mori M, Sakata K, Nakanishi C 他	循環器内科	Acute Thrombogenicity and Vascular Response after Bioresorbable Vascular Scaffold Implantation: Evidenced from Porcine Coronary Model	J Clin Exp Cardiol. 2018,9:594. doi:10.4172/2155-9880.1000594	Original Article
42	Hirofumi Okada	循環器内科	Function and Immunogenicity of Gene-corrected iPSC-derived Hepatocyte-Like Cells in Restoring Low Density Lipoprotein Uptake in Homozygous Familial Hypercholesterolemia.	Scientific Reports 2019 Mar 18;9(1):4695. doi: 10.1038/s41598-019-41056-w.	Original Article
43	Hara S, Hirata M, Ito K 他	リウマチ・膠原病内科	Post-infectious acute glomerulonephritis with podocytopeny induced by parvovirus B19 infection.	Pathol Int. 68(3):190-195,2018	Original Article
44	Yamada K, Zuka M, Ito K 他	リウマチ・膠原病内科	LatY136F knock-in mouse model for human IgG4-related disease.	PLoS One. 13(6):e0198417,2018	Original Article

5件

45	Nakao S, Ishiyama K.	血液内科	Hypomegakaryocytic thrombocytopenia and increased number of PNH-phenotype cells – an emerging subgroup of myelodysplastic syndrome showing frequent response to immunosuppression – RESPONSE to Rafferty & Leach.	Br J Haematol. 2018/7、 182(1):154-155.	Letter
46	Kadohira Y, Yamada S, Hayashi T 他	血液内科	A discrepancy between prothrombin time and Normotest (Hepaplastintest) results is useful for diagnosis of acquired factor V inhibitors.	Int J Hematol. 2018/8、 108(2):145-150.	Original Article
47	Hosokawa K, Sugimori C, Ishiyama K 他	血液内科	Establishment of a flow cytometry assay for detecting paroxysmal nocturnal hemoglobinuria-type cells specific to patients with bone marrow failure.	Ann Hematol. 2018/12、 97(12):2289-2297.	Original Article
48	Takamatsu H, Wee RK, Zaimoku Y 他	血液内科	A comparison of minimal residual disease detection in autografts among ASO-qPCR, droplet digital PCR, and next-generation sequencing in patients with multiple myeloma who underwent autologous stem cell transplantation.	Br J Haematol. 2018/11、 183(4):664-668.	Letter
49	Ishiyama K, Aoki J, Itonaga H 他	血液内科	Graft-versus-MDS effect after unrelated cord blood transplantation: a retrospective analysis of 752 patients registered at the Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation.	Blood Cancer J. 2019/3、 6;9(3):31.	Original Article

5件

50	Hiroyuki Takamatsu, Takeshi Yamashita, Shingo Kurahashi 他	血液内科	Clinical implications of t(11;14) in patients with multiple myeloma undergoing autologous stem cell transplantation.	Biol Blood Marrow Transplant 2019/3、;25(3):474-479.	Original Article
51	Koba H, Kimura H, Nishikawa S 他	呼吸器内科	Next-generation sequencing analysis identifies genomic alterations in pathological morphologies: A case of pulmonary carcinosarcoma harboring EGFR mutations.	Lung Cancer. 2018.8 122:146-150.	Case report
52	Matsuoka H, Kimura H, Koba H 他	呼吸器内科	Nivolumab-induced Limbic Encephalitis with Anti-Hu Antibody in a Patient With Advanced Pleomorphic Carcinoma of the Lung.	Clin Lung Cancer. 2018.9 ;19(5):e597-e599	Case report
53	Abo M, Amino Y, Hara J 他	呼吸器内科	A case of sinobronchial syndrome progressing to diffuse panbronchiolitis despite low-dose, long-term macrolide therapy.	J Thorac Dis. 2018.10 ;10(10):E727-E729	Case report
54	Watanabe S, Ishiyama K, Saeki K 他	呼吸器内科	Tamibarotene for the Treatment of Bronchiolitis Obliterans Associated With Chronic Graft-vs-Host Disease.	Chest. 2019.1 ;155(1):e1-e4	Case report

5件

55	Shimizu M, Furuichi K, Toyama T 他	腎臓内科	Decline in estimated glomerular filtration rate is associated with risk of end-stage renal disease in type 2 diabetes with macroalbuminuria: an observational study from JDNCS.	Clin Exp Nephrol 2018 Apr; 22(2):377-387	Original Article
56	Furuichi K, Shimizu M, Yuzawa Y 他	腎臓内科	Clinicopathological analysis of biopsy-proven diabetic nephropathy based on the Japanese classification of diabetic nephropathy.	Clin Exp Nephrol 2018 Jun; 22(3):570-582	Original Article
57	Wada T, Muso E, Maruyama S 他	腎臓内科	Rationale and study design of a clinical trial to assess the effects of LDL apheresis on proteinuria in diabetic patients with severe proteinuria and dyslipidemia.	Clin Exp Nephrol 2018 Jun; 22(3):591-596	Original Article
58	Furuichi K, Shimizu M, Yuzawa Y 他	腎臓内科	Nationwide multicenter kidney biopsy study of Japanese patients with hypertensive nephrosclerosis.	Clin Exp Nephrol 2018 Jun; 22(3):629-637	Original Article
59	Hara A, Wada T, Sada KE, Amano K 他	腎臓内科	Risk Factors for Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis in Japan: A Nationwide, Prospective Cohort Study.	J Rheumatol 2018 Apr; 45(4):521-528	Original Article

5件

60	Wada T, Hosoya T, Honda D 他	腎臓内科	Uric acid-lowering and renoprotective effects of topiroxostat, a selective xanthine oxidoreductase inhibitor, in patients with diabetic nephropathy and hyperuricemia: a randomized, double-blind, placebo-controlled, parallel-group study (UPWARD study).	Clin Exp Nephrol 2018 Aug; 22(4):860-870	Original Article
61	Furuichi K, Shimizu M, Okada H 他	腎臓内科	Clinico-pathological features of kidney disease in diabetic cases.	Clin Exp Nephrol 2018 Oct; 22(5):1046-1051	Review
62	Furuichi K, Wada T.	腎臓内科	Apheresis for Kidney Disease.	Contrib Nephrol 2018 Jul; 196:188-193	Review
63	Oshima M, Toyama T, Haneda M 他	腎臓内科	Estimated glomerular filtration rate decline and risk of end-stage renal disease in type 2 diabetes.	PLoS One 2018 Aug; 13(8):e0201535	Original Article
64	Furuichi K, Shimizu M, Hara A 他	腎臓内科	Diabetic Nephropathy: A Comparison of the Clinical and Pathological Features between the CKD Risk Classification and the Classification of Diabetic Nephropathy 2014 in Japan.	Intern Med 2018 Dec; 57(23):3345-3350	Review

5件

65	Yamada K, Mizukoshi E, Seike T 他	内分泌・代謝内科	Serum C16:1n7/C16:0 ratio as a diagnostic marker for non-alcoholic steatohepatitis.	J Gastroenterol Hepatol. 2019 Mar 12. doi: 10.1111/jgh.14654. [Epub ahead of print]	Original Article
66	Sako S, Niida Y, Shima KR 他	内分泌・代謝内科	A novel PHEX mutation associated with vitamin D-resistant rickets.	Hum Genome Var. 2019 Feb 14;6:9. doi: 10.1038/s41439-019-0040-3. eCollection 2019.	Original Article
67	Mohri K, Misu H, Takayama H 他	内分泌・代謝内科	Circulating Concentrations of Insulin Resistance-Associated Hepatokines, Selenoprotein P and Leukocyte Cell-Derived Chemotaxin 2, during an Oral Glucose Tolerance Test in Humans.	Biol Pharm Bull. 2019 Mar 1;42(3):373-378. doi: 10.1248/bpb.b18-00549. Epub 2018 Dec 28.	Original Article
68	Shimizu M, Furuichi K, Toyama T 他	内分泌・代謝内科	Association of renal arteriosclerosis and hypertension with renal and cardiovascular outcomes in Japanese type 2 diabetes patients with diabetic nephropathy.	J Diabetes Investig. 2018 Dec 5. doi: 10.1111/jdi.12981. [Epub ahead of print]	Original Article
69	Kanamori T, Takeshita Y, Isobe Y 他	内分泌・代謝内科	Mealtime dosing of a rapid-acting insulin analog reduces glucose variability and suppresses daytime cardiac sympathetic activity: a randomized controlled study in hospitalized patients with type 2 diabetes.	BMJ Open Diabetes Res Care. 2018 Oct 31;6(1):e000588. doi: 10.1136/bmjdr-2018-000588. eCollection 2018.	Original Article

5件

70	Oo SM, Misu H, Saito Y 他	内分泌・代謝内科	Serum selenoprotein P, but not selenium, predicts future hyperglycemia in a general Japanese population.	Sci Rep. 2018 Nov 13;8(1):16727. doi: 10.1038/s41598-018-35067-2.	Original Article
71	Nishino K, Sakurai M, Takeshita Y 他	内分泌・代謝内科	Consuming Carbohydrates after Meat or Vegetables Lowers Postprandial Excursions of Glucose and Insulin in Nondiabetic Subjects.	J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo). 2018;64(5):316-320. doi: 10.3177/jnsv.64.316.	Original Article
72	Takeshita Y, Teramura C, Takamura T.	内分泌・代謝内科	Vanishing of ruptured adrenal mass with takotsubo cardiomyopathy.	Endocr J. 2018 Dec 28;65(12):1155-1159. doi: 10.1507/endocrj.EJ18-0119. Epub 2018 Sep 8.	Original Article
73	Takeshita Y, Kita Y, Kato KI 他	内分泌・代謝内科	Effects of metformin and alogliptin on body composition in people with type 2 diabetes.	J Diabetes Investig. 2019 May;10(3):723-730. doi: 10.1111/jdi.12920. Epub 2018 Oct 25.	Original Article
74	Yamamoto R, Robert Shima K, Igawa H 他	内分泌・代謝内科	Impact of preoperative pasireotide therapy on invasive octreotide-resistant acromegaly.	Endocr J. 2018 Oct 29;65(10):1061-1067. doi: 10.1507/endocrj.EJ17-0487. Epub 2018 Aug 4.	Original Article

5件

75	Shima KR, Usuda R, Futatani T 他	内分泌・代謝内科	Heterogeneous nature of diabetes in a family with a gain-of-function mutation in the ATP-binding cassette subfamily C member 8 (ABCC8) gene.	Endocr J. 2018 Oct 29;65(10):1055-1059. doi: 10.1507/endocrj.EJ18-0054. Epub 2018 Aug 1.	Original Article
76	Shima T, Uto H, Ueki K 他	内分泌・代謝内科	Hepatocellular carcinoma as a leading cause of cancer-related deaths in Japanese type 2 diabetes mellitus patients.	J Gastroenterol. 2019 Jan;54(1):64-77. doi: 10.1007/s00535-018-1494-7. Epub 2018 Jul 13.	Original Article
77	Igawa H, Kikuchi A, Misu H 他	内分泌・代謝内科	p62-mediated autophagy affects nutrition-dependent insulin receptor substrate 1 dynamics in 3T3-L1 preadipocytes.	J Diabetes Investig. 2019 Jan;10(1):32-42. doi: 10.1111/jdi.12866. Epub 2018 Jun 29.	Original Article
78	Saito Y, Misu H, Takayama H 他	内分泌・代謝内科	Comparison of Human Selenoprotein P Determinants in Serum between Our Original Methods and Commercially Available Kits.	Biol Pharm Bull. 2018;41(5):828-832. doi: 10.1248/bpb.b18-00046.	Original Article
79	Akagi A, Iwasaki Y, Mimuro M 他	脳神経内科	Pathological progression of genetic Creutzfeldt-Jakob disease with a PrP V180I mutation	Prion 12(1):54-62, 2018	Original Article

5件

80	Iwasa K, Yoshikawa H, Hamaguchi K 他	脳神経内科	Time-series analysis: variation of anti- acetylcholine receptor antibody titer in myasthenia gravis is related to incidence of Mycoplasma pneumoniae and influenza virus infections	Neurol Res 40(2):102-109, 2018	Original Article
81	Komatsu J, Matsunari I, Samuraki M 他	脳神経内科	Optimization of DARTEL Settings for the Detection of Alzheimer Disease	AJNR Am J Neuroradiol 39(3):473-478, 2018	Original Article
82	Muroishi T, Sakai K, Yanase D 他	脳神経内科	Serum anti-aquaporin-4 antibody-positive neuromyelitis optica spectrum disorder presenting as acute eosinophilic encephalomyelitis	J Clin Neurosci 48:93-94, 2018	Case report
83	Sakai K, Ishida C, Kato- Motozaki Y 他	脳神経内科	Somatic sprouts of the Purkinje cells in a patient with multiple system atrophy	Neuropathology 2018 Mar 25	Case report
84	Yuki-Nozaki S, Noguchi- Shinohara M, Domoto C 他	脳神経内科	Differences in Dementia Beliefs between Non- Demented Public Screeners and In-Home Screeners and Their Potential Impact on Future Dementia Screening Intention: The Nakajima Study	J Alzheimers Dis 62(4):1651- 1661, 2018	Original Article

5件

85	Hamaguchi T, Komatsu J, Sakai K 他	脳神経内科	Cerebral hemorrhagic stroke associated with cerebral amyloid angiopathy in young adults about 3 decades after neurosurgeries in their infancy	J Neurol Sci 399:3-5, 2019	Case report
86	Iwasa K, Yoshikawa H, Furukawa Y 他	脳神経内科	Programmed cell death ligand 1 expression is upregulated in the skeletal muscle of patients with myasthenia gravis	J Neuroimmunol 325:74-78, 2018	Original Article
87	Komatsu J, Samuraki M, Nakajima K 他	脳神経内科	123I-MIBG myocardial scintigraphy for the diagnosis of DLB: a multi-center three-year follow-up study	J Neurol Neurosurg Psychiatry 89(11):1167-1173, 2018	Original Article
88	Muramatsu D, Yamaguchi H, Iwasa K 他	脳神経内科	Cerebellar hyperintensity lesions on diffusion-weighted MRI in MELAS	Intern Med 58(12):1797-1798, 2019	Case report
89	Nakamura K, Kaya H, Kobayashi T 他	脳神経内科	Bulleidia extracta and Actinomyces israelii infections in a patient with brain abscess	Neurol Sci 39(9):1641-1642, 2018	Case report

5件

90	Noguchi-Shinohara M, Abe C, Yuki-Nozaki S 他	脳神経内科	Higher blood vitamin C levels are associated with reduction of apolipoprotein E E4-related risks of cognitive decline in women: the Nakajima Study	J Alzheimers Dis 63(4):1289-1297, 2018	Original Article
91	Yamaguchi H, Sakai K, Goto Y 他	脳神経内科	Autoimmune hepatitis induced by a single injection of interferon-beta 1a in a patient with multiple sclerosis	J Neurol 265(6):1469-1471, 2018	Case report
92	Yamada M, Hamaguchi T	脳神経内科	The sulfation code for propagation of neurodegeneration	J Biol Chem 293(27):10841-10842, 2018	Review
93	Fukai M, Bunai T, Hirokawa T 他	神経科精神科	Endogenous dopamine release under transcranial direct-current stimulation governs enhanced attention: a study with positron emission tomography.	Transl Psychiatry. 2019 Mar 15;9(1):115	Original Article
94	Hirokawa T, Kikuchi M, Fukai M 他	神経科精神科	Association Between Magnetoencephalographic Interictal Epileptiform Discharge and Cognitive Function in Young Children With Typical Development and With Autism Spectrum Disorders.	Front Psychiatry. 2019 Mar 15;9(1):115	Original Article

5件

95	Tsubomoto M, Kawabata R, Zhu X 他	神経科精神科	Expression of Transcripts Selective for GABA Neuron Subpopulations across the Cortical Visuospatial Working Memory Network in the Healthy State and Schizophrenia	Cerebral Cortex 2018 September 24 E-pub ahead of print	Original Article
96	Kumazaki H, Okamoto M, Yoshimura Y 他	子どものこころの診療科	Altered Gamma Oscillations during Motor Control in Children with Autism Spectrum Disorder	J Neurosci. 2018 Sep 5;38(36):7878-7886	Original Article
97	Hasegawa C, Takahashi T, Yoshimura Y 他	子どものこころの診療科	Developmental Trajectory of Infant Brain Signal Variability: A Longitudinal Pilot Study	Front Neurosci. 2018 Aug 14;12:566	Original Article
98	Kumazaki H, Kikuchi M, Yoshimura Y 他	子どものこころの診療科	Relationship Between Odor Identification and Visual Distractors in Children with Autism Spectrum Disorders.	J Autism Dev Disord. 2018 Jul;48(7):2590-2592	Original Article
99	Kumazaki H, Yoshikawa Y, Yoshimura Y 他	子どものこころの診療科	The impact of robotic intervention on joint attention in children with autism spectrum disorders.	Mol Autism. 2018 Sep 4;9:46	Original Article

5件

100	Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H 他	子どものこころの診療科	Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder.	Psychiatry Res Neuroimaging. 2018 Nov 30;281:117-122	Original Article
101	Kumazaki H, Okamoto M, Kanzaki S 他	子どものこころの診療科	Approaches for Assessing Olfaction in Children with Autism Spectrum Disorder.	Methods Mol Biol. 2018;1820:221-228	Original Article
102	Takakura M, Shimizu M, Mizuta M 他	小児科	Successful treatment of rituximab- and steroid-resistant nephrotic syndrome with leukocytapheresis.	J Clin Apher 2018 Jun; 33(3):409-411	Case report
103	Taizo Wada, Tomoko Toma, Hanae Miyazawa 他	小児科	Characterization of skin blister fluids from children with Epstein-Barr virus-associated lymphoproliferative disease.	J Dermatol. 2018 Apr;45(4):444-449.	Case report
104	Taizo Wada, Tomoko Toma, Hanae Miyazawa 他	小児科	Longitudinal analysis of serum interleukin-18 in patients with familial Mediterranean fever carrying MEFV mutations in exon 10.	Cytokine. 2018 Apr;104:143-146.	Others

5件

105	Maiko Takakura, Masaki Shimizu, Mao Mizuta 他	小児科	Successful treatment of rituximab- and steroid-resistant nephrotic syndrome with leukocytapheresis.	J Clin Apher. 2018 Jun;33(3):409-411.	Case report
106	Raita Araki, Ryosei Nishimura, Rie Kuroda 他	小児科	A characteristic flow cytometric pattern with broad forward scatter and narrowed side scatter helps diagnose immune thrombocytopenia (ITP).	Int J Hematol. 2018 Aug;108(2):151-160.	Original Article
107	Masaki Shimizu, Mao Mizuta, Masaaki Usami 他	小児科	Clinical significance of serum soluble TNF receptor II level and soluble TNF receptor II/I ratio as indicators of coronary artery lesion development in Kawasaki disease.	Cytokine. 2018 2018 Aug;108:168-172.	Others
108	Taizo Wada.	小児科	Downregulation of CD5 and dysregulated CD8+ T-cell activation.	Pediatr Int. 2018 Sep;60(9):776-780.	Review
109	Shimizu M, Mizuta M, Yasumi T 他	小児科	Validation of Classification Criteria of Macrophage Activation Syndrome in Japanese Patients With Systemic Juvenile Idiopathic Arthritis.	Arthritis Care Res (Hoboken). 2018 Sep;70(9):1412-1415.	Others

5件

110	Maiko Takakura, Masaki Shimizu, Tadafumi Yakoyama 他	小児科	Transient natural killer cell dysfunction associated with interleukin-18 overproduction in systemic juvenile idiopathic arthritis.	Pediatr Int. 2018 Oct;60(10):984-985.	Others
111	Yasuhiro Ikawa, Ryosei Nishimura, Hideaki Maeba 他	小児科	Deep spontaneous molecular remission in a patient with congenital acute myeloid leukemia expressing a novel MOZ-p300 fusion transcript.	Leuk Lymphoma. 2018 Oct;59(10):2497-2499.	Case report
112	Yusuke Mitani, Taizo Wada, Yusuke Matsuda 他	小児科	XL-EDA-ID Presenting with Congenital Duodenal Atresia and Perforations.	J Clin Immunol. 2018 Oct;38(7):733-735.	Letter
113	Naoto Sakumura, Masaki Shimizu, Mao Mizuta 他	小児科	Soluble CD163, a unique biomarker to evaluate the disease activity, exhibits macrophage activation in systemic juvenile idiopathic arthritis.	Cytokine. 2018 Oct;110:459-465.	Others
114	Akihiro Yachie.	小児科	Cytologic Analysis of Epstein-Barr Virus-Associated T/Natural Killer-Cell Lymphoproliferative Diseases.	Front Pediatr. 2018 Nov 16;6:327.	Others

5件

115	Masaki Shimizu, Yutaka Saikawa, Akihiro Yachie.	小児科	Role of 18-fluoro-2-deoxyglucose positron emission tomography in detecting acute inflammatory lesions of non-bacterial osteitis in patients with a fever of unknown origin: A comparative study of 18-fluoro-2-deoxyglucose positron emission tomography, bone scan, and magnetic resonance imaging.	Mod Rheumatol. 2018 Nov;28(6):1058-1062.	Case report
116	Masaki Shimizu, Junsuke Nakase, Akihiro Yachie.	小児科	Infrapatellar Ganglion Cyst of the Knee Fat Pad in a Child with Juvenile Idiopathic Arthritis.	J Rheumatol. 2019 Jan;46(1):112.	Case report
117	Yasuhiro Ikawa, Toshihiro Fujikia, Ryosei Nishimura 他	小児科	Improvement of refractory acyclovir-resistant herpes simplex virus type 1 infection by continuous acyclovir administration.	J Infect Chemother. 2019 Jan;25(1):65-67.	Case report
118	Akira Sato, Yasuhiro Ikawa, Natsumi Inoue 他	小児科	Massive intestinal liquid retention in a case of severe heat stroke.	J Paediatr Child Health. 2019 Feb;55(2):248-249.	Letter
119	Masaki Shimizu, Natsumi Inoue, Mao Mizuta 他	小児科	Serum Leucine-Rich alpha2-Glycoprotein as a Biomarker for Monitoring Disease Activity in Patients with Systemic Juvenile Idiopathic Arthritis.	J Immunol Res. 2019 Feb 4;2019:3140204.	Others

5件

120	Okumura K, Matsumoto J, Iwata Y 他	放射線科	Evaluation of renal oxygen saturation using photoacoustic imaging for the early prediction of chronic renal function in a model of ischemia-induced acute kidney injury	PLoS One 2018 Dec 17;13(12):e0206461.	Original Article
121	Komori T, Inoue D, Zen Y, 他	放射線科	CT imaging comparison between intraductal papillary neoplasms of the bile duct and papillary cholangiocarcinomas	Eur Radiol 2019 Jun;29(6):3132-3140.	Original Article
122	Toshima F, Inoue D, Komori T 他	放射線科	Qualitative and quantitative evaluation for morphological changes of the splenic artery in autoimmune pancreatitis: novel imaging findings for differentiation from pancreatic adenocarcinoma	Abdom Radiol 2018 Dec;43(12):3357-3366.	Original Article
123	Kitao A, Matsui O, Yoneda N 他	放射線科	Differentiation Between Hepatocellular Carcinoma Showing Hyperintensity on the Hepatobiliary Phase of Gadoteric Acid-Enhanced MRI and Focal Nodular Hyperplasia by CT and MR	Am J Roentgenol 2018 Aug;211(2):347-357.	Original Article
124	Yoneda N, Matsui O, Kobayashi S 他	放射線科	Current status of imaging biomarkers predicting the biological nature of hepatocellular carcinoma.	Jpn J Radiol 2019 Mar;37(3):191-208.	Review

5件

125	Shimizu Y, Takamatsu S, Yamamoto K 他	放射線科	Segmental analysis of respiratory liver motion in patients with and without a history of abdominal surgery.	Jpn J Radiol 2018 Aug;36(8):511-518.	Original Article
126	Yoneda N, Matsui O, Kitao A 他	放射線科	Peri-tumoral hyperintensity on hepatobiliary phase of gadoxetic acid-enhanced MRI in hepatocellular carcinomas: correlation with peri-tumoral hyperplasia and its pathological features.	Abdom Radiol 2018 Aug;43(8):2103-2112.	Original Article
127	Yoshida K, Matsui O, Miyayama S 他	放射線科	Isolated Arteries Originating from the Intrahepatic Arteries: Anatomy, Function, and Importance in Intervention.	J Vasc Interv Radiol 2018 Apr;29(4):531-537.	Review
128	Matsumoto J, Yoshida K, Inoue D 他	放射線科	Solidified mucinous tumor of the ovary presenting characteristic MRI finding.	Eur J Radiol Open 2019 Jan 28;6:68-71	Case report
129	Takamatsu S, Kozaka K, Kobayashi S 他	放射線治療科	Pathology and images of radiation-induced hepatitis: a review article.	Jpn J Radiol 2018 Apr;36(4):241-256.	Review

5件

130	Ohno N, Miyati T, Niwa Y 他	放射線部	Novel practical SNR determination method for MRI using double echo with longest second echo time (DELSET).	Br J Radiol 2018 Jun;91(1086):20170652.	Original Article
131	Ohno N, Miyati T, Suzuki S 他	放射線部	Hybrid quantitative MRI using chemical shift displacement and recovery-based simultaneous water and lipid imaging: A preliminary study.	Magn Reson Imaging 2018 Jul;50:61-67.	Original Article
132	Matsushita T, Kobayashi T, Mizumaki K 他	皮膚科	BAFF inhibition attenuates fibrosis in scleroderma by modulating the regulatory and effector B cell balance	Sci Adv 2018 Jul ,4(7),eaas9944	Original Article
133	Oishi K, Kitano T, Mizumaki K 他	皮膚科	Angiosarcoma-related pneumothorax treated with intrapleural paclitaxel administration and pleurodesis with OK-432	Eur J Dermatol 2018 Aug,28 (4),520-521	Original Article
134	Oishi K, Matsushita T, Takehara K 他	皮膚科	Increased interleukin-9 levels in sera, muscle and skin of patients with dermatomyositis	J Dermatol 2018 Aug,45 (8),1023-1025	Original Article

5件

135	Ogawa-Ochiai K, Osuga K, Hidaka K 他	漢方医学科	A case of extensive pharyngeal vascular malformation successfully treated with Kampo medicine.	Auris nasus larynx 2018 February , Volume 45, Issue 1,Pages 190-193	Case report
136	Mishima Rei, Mishima Rei, Shinmyo Yohei 他	漢方医学科	Effect of maternal yokukansan treatment on somatosensory map formation in the cerebral cortex of newborn mouse pups	Traditional & Kampo Medicine vol. 5 Iss. 2 (2018) 98-105	Original Article
137	Miyata T, Tajima H, Hirata M 他	肝胆膵・移植外科	Phosphodiesterase III inhibitor attenuates rat sinusoidal obstruction syndrome through inhibition of platelet aggregation in Disse's space	Journal of Gastroenterology and Hepatology 2018.04、33(4):950- 957	Original Article
138	Tajima H, Okazaki M, Yamaguchi T 他	肝胆膵・移植外科	Phase I study of third-line palliative chemotherapy with low dose paclitaxel for pancreatic cancer	Molecular and Clinical Oncology 2018.04、8(4):623-627	Original Article
139	Miyashita T, Kono T, Matsui D 他	肝胆膵・移植外科	Preventive effect of oral hangeshashinto (TJ-14) on the development of reflux- induced esophageal cancer	Surgery 2018.07、164(1):49-55	Original Article

5件

140	Okazaki M, Fushida S, Tsukada T 他	肝胆膵・移植外科	The effect of HIF-1alpha and PKM1 expression on acquisition of chemoresistance	Cancer Management and Research 2018.07、10:1865-1874	Original Article
141	Takada S, Miyashita T, Yamamoto Y 他	肝胆膵・移植外科	Soluble Thrombomodulin Attenuates Endothelial Cell Damage in Hepatic Sinusoidal Obstruction Syndrome	In Vivo 2018.11-12、32(6):1409-1417	Original Article
142	Nomura K, Miyashita T, Yamamoto Y 他	肝胆膵・移植外科	Citrullinated Histone H3: Early Biomarker of Neutrophil Extracellular Traps in Septic Liver Damage	Journal of Surgical Research 2019.02、234(2):132-138	Original Article
143	Kurata T, Fushida S, Kinoshita J 他	胃腸外科	Low-dose eribulin mesylate exerts antitumor effects in gastric cancer by inhibiting fibrosis via the suppression of epithelial - mesenchymal transition and acts synergistically with 5-fluorouracil	Cancer Management and Research 2018.08、10:2729-2742	Original Article
144	Fushida S, Kinoshita J, Oyama K 他	胃腸外科	Multidisciplinary therapy for scirrhus gastric cancer: a retrospective analysis and proposal of new treatment strategy	Cancer Management and Research 2018.09、10:3833-3839	Original Article

5件

145	Kinoshita J, Fushida S, Kaji M 他	胃腸外科	A randomized controlled trial of postoperative intravenous acetaminophen plus thoracic epidural analgesia vs. thoracic epidural analgesia alone after gastrectomy for gastric cancer	Gastric Cancer 2019.03、 22(2):392-402	Original Article
146	Kawashima H, Miyati T, Ohno N 他	乳腺科	Differentiation between phylloides tumours and fibroadenomas using intravoxel incoherent motion magnetic resonance imaging: comparison with conventional diffusion-weighted imaging	Br J Radiol 2018 Apr;91(1084):20170687.	Original Article
147	Tsuchiya H.	整形外科	Biological reconstruction after tumor resection.	J Limb Lengthen Reconstr 4:3-5, 2018	Review
148	Kabata T, Kajino Y, Inoue D 他	整形外科	Safety range for acute limb lengthening in primary total hip arthroplasty.	Int Orthop. 2018 Sep 21. [Epub ahead of print]	Original Article
149	Hayashi K, Yahata T, Muramoto R 他	整形外科	Factors Associated with Discharge Destination in Advanced Cancer Patients with Bone Metastasis in a Japanese Hospital.	Ann Rehabil Med. 42:477-482, 2018	Original Article

5件

150	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Usefulness of the "grand-piano sign" for determining femoral rotational alignment in total knee arthroplasty.	Knee 25(1):15-24, 2018	Original Article
151	Inoue D, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Clinical Results of Total Hip Arthroplasty in Two Patients with Charcot Hip Joints due to Congenital Insensitivity to Pain with Anhydrosis.	Case Rep Orthop 2018 Jan 31	Original Article
152	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Differences in range of motion with the same combined anteversion after total hip arthroplasty.	Int Orthop 42(5):1021-1028, 2018	Original Article
153	Taga T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Comparison with the osteoconductivity and bone-bonding ability of the iodine supported titanium, titanium with porous oxide layer and the titanium alloy in the rabbit model.	J Orthop Sci 23(3):585-591, 2018	Original Article
154	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Effectiveness and Safety of Needle Medial Collateral Ligament Pie-Crusting in Total Knee Arthroplasty: A Cadaveric Study.	J Knee Surg 31(8):705-709, 2018	Original Article

5件

155	Ueno T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Risk Factors and Cup Protrusion Thresholds for Symptomatic Iliopsoas Impingement After Total Hip Arthroplasty: A Retrospective Case-Control Study.	J Arthroplasty 33(10):3288-3296, 2018	Original Article
156	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Three-dimensional limb lengthening after total knee arthroplasty in a simulation study.	Mod Rheumatol 28(6):1029-1034, 2018	Original Article
157	Yoshitani J, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	The effect of flexion alignment in total hip arthroplasty with a cementless tapered-wedge femoral stem.	Eur J Orthop Surg Traumatol 28(8):1625-1632, 2018	Original Article
158	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	A proposed new rotating reference axis for the tibial component after proximal tibial resection in total knee arthroplasty.	PLoS One. 2018 Dec 20;13(12)	Original Article
159	Inoue D, Kabata T, Kimura H 他	整形外科	A prospective clinical trial to assess the accuracy of an MRI-based patient-specific acetabular instrument guide in total hip arthroplasty.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2019 Jan;29(1):65-71	Original Article

5件

160	Ueno T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Three-Dimensional Host Bone Coverage Required in Total Hip Arthroplasty for Developmental Dysplasia of the Hip and Its Relationship With 2-Dimensional Coverage.	Arthroplasty. 2019 Jan;34(1):93-101.	Original Article
161	Inoue D, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Mid- to long-term results of resurfacing hip arthroplasty in Japanese patients: a comparison of osteoarthritic vs non-osteoarthritic patients.	J Artif Organs. 2019 Mar;22(1):77-83	Original Article
162	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Effect of changing femoral head diameter on bony and prosthetic jumping angles.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2019 Apr;29(3):625-632.	Original Article
163	Inoue D, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Iodine-supported titanium implants have good antimicrobial attachment effects.	J Orthop Sci. 2019 May;24(3):548-551	Original Article
164	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	The optimal combined anteversion pattern to achieve a favorable impingement-free angle in total hip arthroplasty.	J Orthop Sci. 2019 May;24(3):474-481.	Original Article

5件

165	Tada K, Toribatake Y, Yamamoto D 他	整形外科	Tin ring splint treatment for osteoarthritis of the distal interphalangeal joints	Hand(NY) 2018 Feb 1	Original Article
166	Takeuchi A, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	Growth of epiphysis after epiphyseal-preservation surgery for childhood osteosarcoma around the knee joint	BMC Musculoskelet Disord 2018 Jun 6;19(1):185.	Original Article
167	Takeuchi A, Suwanpramote P, Yamamoto N 他	整形外科	Mid- to long-term clinical outcome of giant cell tumor of bone treated with calcium phosphate cement following thorough curettage and phenolization	J Surg Oncol 117: 1232-1238, 2018	Original Article
168	Miwa S, Mochizuki T, Yamamoto N 他	整形外科	Efficacy and Limitations of F-18-fluoro-2-deoxy-D-glucose Positron Emission Tomography to Differentiate Between Malignant and Benign Bone and Soft Tissue Tumors	Anticancer Res 38: 4065-4072, 2018	Original Article
169	Miwa S, Hoffman RM	整形外科	Imaging DNA Repair After UV Irradiation Damage of Cancer Cells in Gelfoam® Histoculture	Methods Mol Biol 1760: 199-203, 2018	Original Article

5件

170	Igarashi K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Metabolic targeting with recombinant methioninase combined with palbociclib regresses a doxorubicin-resistant dedifferentiated liposarcoma.	Biochem Biophys Res Commun 2018 Dec 2;506(4):912-917.	Original Article
171	Igarashi K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Temozolomide regresses a doxorubicin-resistant undifferentiated spindle-cell sarcoma patient-derived orthotopic xenograft (PDOX): precision-oncology nude-mouse model matching the patient with effective therapy.	J Cell Biochem 2018 Aug;119(8):6598-6603.	Original Article
172	Igarashi K, Kawaguchi K, Li S 他	整形外科	Recombinant methioninase combined with doxorubicin (DOX) regresses a DOX-resistant synovial sarcoma in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) mouse model.	Oncotarget 10;9(27):19263-19272.	Original Article
173	Igarashi K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R is a highly effective general therapeutic for undifferentiated soft tissue sarcoma patient-derived orthotopic xenograft nude-mouse models.	Biochem Biophys Res Commun 2018 Mar 18;497(4):1055-1061.	Original Article
174	Igarashi K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R combined with recombinant methioninase and cisplatin eradicates an osteosarcoma cisplatin-resistant lung metastasis in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) mouse model: decoy, trap and kill chemotherapy moves toward the clinic.	Cell Cycle 2018;17(6):801-809.	Original Article

5件

175	Igarashi K, Kawaguchi K, Li S 他	整形外科	Recombinant methioninase in combination with doxorubicin (DOX) overcomes first-line DOX resistance in a patient-derived orthotopic xenograft nude-mouse model of undifferentiated spindle-cell sarcoma.	Cancer Lett 417: 168-173, 2018	Original Article
176	Igarashi K, Li S, Han Q 他	整形外科	Growth of doxorubicin-resistant undifferentiated spindle-cell sarcoma PDOX is arrested by metabolic targeting with recombinant methioninase.	J Cell Biochem 119: 3537-3544, 2018	Original Article
177	Higuchi T, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	The Efficacy of Wide Resection for Musculoskeletal Metastatic Lesions of Renal Cell Carcinoma.	Anticancer Res 38: 577-582, 2018	Original Article
178	Higuchi T, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	Successful joint preservation of distal radius osteosarcoma by en bloc tumor excision and reconstruction using a tumor bearing frozen autograft: a case report.	BMC Surg 18: 12, 2018	Original Article
179	Higuchi T, Takeuchi A, Munesue S 他	整形外科	Anti-tumor effects of a nonsteroidal anti-inflammatory drug zaltoprofen on chondrosarcoma via activating peroxisome proliferator-activated receptor gamma and suppressing matrix metalloproteinase-2 expression.	Cancer Med 7: 1944-1954, 2018	Original Article

5件

180	Higuchi T, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	Calcium Phosphate Cement in the Surgical Management of Benign Bone Tumors.	Anticancer Res 38: 3031-3035, 2018	Original Article
181	Higuchi T, Yamamoto N, Shirai T 他	整形外科	Treatment outcomes of the simple bone cyst: A comparative study of 2 surgical techniques using artificial bone substitutes.	Medicine (Baltimore) 97: e0572, 2018	Original Article
182	Higuchi T, Yamamoto N, Hayashi K 他	整形外科	Long-term patient survival after the surgical treatment of bone and soft-tissue metastases from renal cell carcinoma.	Bone Joint J 100-B: 1241-1248, 2018	Original Article
183	Higuchi T, Kawaguchi K, Miyake K 他	整形外科	Oral Recombinant Methioninase Combined with Caffeine and Doxorubicin Induced Regression of a Doxorubicin-resistant Synovial Sarcoma in a PDOX Mouse Model.	Anticancer Res 38: 5639-5644, 2018	Original Article
184	Oshima T, Nakase J, Kitaoka K 他	整形外科	Poor static balance is a risk factor for non-contact ACL injury	Arch Orthop Trauma Surg 138: 1713-18, 2018	Original Article

5件

185	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	A proposed new rotating reference axis for the tibial component after proximal tibial resection in total knee arthroplasty	PLoS One 13, 2018	Original Article
186	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Three-dimensional limb lengthening after total knee arthroplasty in a simulation study	Mod Rheumatol 28: 1029-1034, 2018	Original Article
187	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Usefulness of the "grand-piano sign" for determining femoral rotational alignment in total knee arthroplasty	Knee 25: 15-24, 2018	Original Article
188	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Differences in range of motion with the same combined anteversion after total hip arthroplasty	Int Orthop 42: 1021-1028, 2018	Original Article
189	Ohmori T, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	Effectiveness and Safety of Needle Medial Collateral Ligament Pie-Crusting in Total Knee Arthroplasty: A Cadaveric Study	J Knee Surg 31: 705-709, 2018	Original Article

5件

190	Yoshitani J, Kabata T, Kajino Y 他	整形外科	The effect of flexion alignment in total hip arthroplasty with a cementless tapered-wedge femoral stem.	Eur J Orthop Surg Traumatol 28 (8): 1625-1632, 2018	Original Article
191	Shimozaki K, Nakase J, Asai K 他	整形外科	Incidence rates and characteristics of abnormal lumbar findings and low back pain in child and adolescent weightlifter: A prospective three-year cohort study.	PLoS One 2018 Oct 29;13(10)	Original Article
192	Shimozaki K, Nakase J, Takata Y 他	整形外科	Greater body mass index and hip abduction muscle strength predict noncontact anterior cruciate ligament injury in female Japanese high school basketball players.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 26:3004-3011, 2018	Original Article
193	Araki Y, Yoshida A, Tanzawa Y 他	整形外科	Reconstruction of the Shoulder Joint with a Custom-Made Ceramic Implant After a Total Scapulectomy: A Case Report.	JBJS Case Connect. 2018 Jan-Mar;8(1):e12.	Case report
194	Kashihara N, Furumatsu T, Kodama Y, Tanaka T, Ozaki T.	整形外科	Concurrent Lateral Meniscal Repair with Anterior Cruciate Ligament Reconstruction Induces the Extrusion of the Lateral Meniscus: Assessments of Magnetic Resonance Images.	Acta Med Okayama. 2016 Dec;70(6):441-448	Original Article

5件

195	Higuchi T, Yamamoto N, Nishida H 他	整形外科	Knee joint preservation surgery in osteosarcoma using tumour-bearing bone treated with liquid nitrogen	Int Orthop 41: 2189-2197, 2017	Original Article
196	Imagama S, Ando K, Takeuchi K 他	整形外科	Perioperative complications after surgery for thoracic ossification of posterior longitudinal ligament-nationwide multicenter prospective study	Spine (Phila Pa 1976) 43: E1389-E1397, 2018	Original Article
197	Minehiro K, Demura S, Ichikawa K 他	整形外科	Dose Reduction Protocol for Full Spine X-ray Examination Using Copper Filters in Patients With Adolescent Idiopathic Scoliosis.	Spine (Phila Pa 1976) 2018 Jul 12.	Original Article
198	Akazawa T, Watanabe K, Matsumoto M 他	整形外科	Japan Spinal Deformity Institute study group. Modic changes and disc degeneration in adolescent idiopathic scoliosis patients who reach middle age without surgery: Can residual deformity cause lumbar spine degeneration?	J Orthop Sci. 2018 Nov;23(6):884-888.	Original Article
199	Ogura Y, Takeda K, Kou I 他	整形外科	An international meta-analysis confirms the association of BNC2 with adolescent idiopathic scoliosis.	Sci Rep. 2018 Mar 16;8(1):4730.	Original Article

5件

200	Hashimoto S, Honda K, Fujita K 他	整形外科	Effect of coadministration of rifampicin on the pharmacokinetics of linezolid: clinical and animal studies.	J Pharm Health Care Sci 4:27, 2018.	Original Article
201	Kiyuna T, Tome Y, Murakami T 他	整形外科	A combination of irinotecan/cisplatin and irinotecan/temozolomide or tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R arrest doxorubicin- and temozolomide-resistant myxofibrosarcoma in a PDOX mouse model.	Biochem Biophys Res Commun 505: 733-739, 2018	Original Article
202	Kawaguchi K, Higuchi T, Li S 他	整形外科	Combination therapy of tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R and oral recombinant methioninase regresses a BRAF-V600E-negative melanoma.	Biochem Biophys Res Commun 503: 3086-3092, 2018	Original Article
203	Kiyuna T, Tome Y, Murakami T 他	整形外科	Trabectedin arrests a doxorubicin-resistant PDGFRA-activated liposarcoma patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude mouse model.	BMC Cancer 18: 840, 2018	Original Article
204	Kiyuna T, Murakami T, Tome Y 他	整形外科	Doxorubicin-resistant pleomorphic liposarcoma with PDGFRA gene amplification is targeted and regressed by pazopanib in a patient-derived orthotopic xenograft mouse model.	Tissue Cell 53: 30-36, 2018	Original Article

5件

205	Kawaguchi K, Igarashi K, Miyake K 他	整形外科	Patterns of sensitivity to a panel of drugs are highly individualised for undifferentiated/unclassified soft tissue sarcoma (USTS) in patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude-mouse models.	J Drug Target 2019 Feb;27(2):211-216	Original Article
206	Miyake K, Kawaguchi K, Miyake M 他	整形外科	Tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R suppressed an imatinib-resistant gastrointestinal stromal tumor with c-kit exon 11 and 17 mutations.	Heliyon 2018 Jun 6;4(6):e00643.	Original Article
207	Kawaguchi K, Miyake K, Zhao M 他	整形外科	Tumor targeting Salmonella typhimurium A1-R in combination with gemcitabine (GEM) regresses partially GEM-resistant pancreatic cancer patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude mouse models.	Cell Cycle 17: 2019-2026, 2018	Original Article
208	Kiyuna T, Tome Y, Murakami T 他	整形外科	Tumor-targeting Salmonella typhimurium A1-R arrests a doxorubicin-resistant PDGFRA-amplified patient-derived orthotopic xenograft mouse model of pleomorphic liposarcoma.	J Cell Biochem 119: 7827-7833, 2018	Original Article
209	Kawaguchi K, Miyake K, Han Q 他	整形外科	Oral recombinant methioninase (o-rMETase) is superior to injectable rMETase and overcomes acquired gemcitabine resistance in pancreatic cancer.	Cancer Lett 432: 251-259, 2018	Original Article

5件

210	Kawaguchi K, Igarashi K, Miyake K 他	整形外科	MEK inhibitor trametinib in combination with gemcitabine regresses a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) pancreatic cancer nude mouse model.	Tissue Cell 52: 124-128, 2018	Original Article
211	Miyake K, Kiyuna T, Miyake M 他	整形外科	Patient-derived orthotopic xenograft models for cancer of unknown primary precisely distinguish chemotherapy, and tumor-targeting S. typhimurium A1-R is superior to first-line chemotherapy.	Signal Transduct Target Ther 2018 Apr 27;3:12	Original Article
212	Kawaguchi K, Miyake K, Han Q 他	整形外科	Targeting altered cancer methionine metabolism with recombinant methioninase (rMETase) overcomes partial gemcitabine-resistance and regresses a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude mouse model of pancreatic cancer.	Cell Cycle 17: 868-873, 2018	Original Article
213	Kawaguchi K, Han Q, Li S 他	整形外科	Intra-tumor L-methionine level highly correlates with tumor size in both pancreatic cancer and melanoma patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude-mouse models.	Oncotarget 9: 11119-11125, 2018	Original Article
214	Kawaguchi K, Igarashi K, Kiyuna T 他	整形外科	Individualized doxorubicin sensitivity testing of undifferentiated soft tissue sarcoma (USTS) in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) model demonstrates large differences between patients.	Cell Cycle 17: 627-633, 2018	Original Article

5件

215	Miyake K, Kawaguchi K, Kiyuna T 他	整形外科	Regorafenib regresses an imatinib-resistant recurrent gastrointestinal stromal tumor (GIST) with a mutation in exons 11 and 17 of c-kit in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude mouse model	Cell Cycle 17: 722-727, 2018	Original Article
216	Kawaguchi K, Han Q, Li S 他	整形外科	Targeting methionine with oral recombinant methioninase (o-rMETase) arrests a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) model of BRAF-V600E mutant melanoma: implications for chronic clinical cancer therapy and prevention.	Cell Cycle 17: 356-361, 2018	Original Article
217	Miyake K, Murakami T, Kiyuna T 他	整形外科	Eribulin regresses a doxorubicin-resistant Ewing's sarcoma with a FUS-ERG fusion and CDKN2A-deletion in a patient-derived orthotopic xenograft (PDOX) nude mouse model.	J Cell Biochem 119: 967-972, 2018	Original Article
218	Minato H, Kobayashi E, Nakada S 他	整形外科	Sinonasal NUT carcinoma: clinicopathological and cytogenetic analysis with autopsy findings.	Hum Pathol 71:157-165, 2018	Original Article
219	Mizutani K, Yamada S, Guo X 他	整形外科	An autopsy case of peripheral T cell lymphoma occurring in a postpartum woman: a unique case suggesting changes in the immunocharacteristics of lymphoma cells before and after delivery	Diagn Pathol 2018 May 22;13(1):32.	Original Article

5件

220	Shioya A, Saito K, Kurose N 他	整形外科	Primary enteric-type tubulovillous adenocarcinoma arising in the renal pelvis	Pathol Int 68:388-390, 2018	Original Article
221	Shinmura K, Murakami H, Demura S 他	脊椎・脊髄外科	A histological examination of spinal reconstruction using a frozen bone autograft.	PLoS One 2018 Jan 25;13(1):e0191679	Original Article
222	Shimizu T, Murakami H, Demura S 他	脊椎・脊髄外科	Total en bloc spondylectomy for primary tumors of the lumbar spine	Medicine 97: 37(e12366), 2018	Original Article
223	Shimizu T, Murakami H, Sangsin A 他	脊椎・脊髄外科	En bloc corpectomy for late gastrointestinal stromal tumor metastasis: a case report and review of the literature	J Med Case Rep 12: 300, 2018	Case report
224	Kawaguchi S, Narimoto K, Urata S 他	泌尿器科	Predictors of persistent stress urinary incontinence after transvaginal mesh repair.	BMC Womens Health. 2018 Oct 25;18(1):174. doi: 10.1186/s12905-018-0667-0.	Original Article

5件

225	Makino T, Izumi K, Natsagdorj A 他	泌尿器科	Significance of Perioperative Chemotherapy in Squamous Cell Carcinoma of the Upper and Lower Urinary Tract.	Anticancer Res. 2018 Apr;38(4):2241-2245.	Original Article
226	Shigehara K, Konaka H, Sugimoto K 他	泌尿器科	Sleep disturbance as a clinical sign for severe hypogonadism: efficacy of testosterone replacement therapy on sleep disturbance among hypogonadal men without obstructive sleep apnea.	Aging Male. 2018 Jun;21(2):99-105	Original Article
227	Iwamoto H, Izumi K, Natsagdorj A 他	泌尿器科	Effectiveness and Safety of Pegfilgrastim in BEP Treatment for Patients with Germ Cell Tumor.	In Vivo. 2018 Jul-Aug;32(4):899-903. doi: 10.21873/invivo.11326.	Original Article
228	Nakagawa T, Shigehara K, Naito R 他	泌尿器科	Reiter's syndrome following intravesical Bacillus Calmette-Guerin therapy for bladder carcinoma: a report of five cases.	Int Cancer Conf J. 2018 Aug 21;7(4):148-151. doi: 10.1007/s13691-018-0342-1. eCollection 2018 Oct.	Case report
229	Kadono Y, Nohara T, Kawaguchi S 他	泌尿器科	Investigating the mechanism underlying urinary continence recovery after radical prostatectomy: effectiveness of a longer urethral stump to prevent urinary incontinence.	BJU Int. 2018 Sep;122(3):456-462. doi: 10.1111/bju.14181. Epub 2018 Mar 22.	Original Article

5件

230	Nakashima K, Shigehara K, Kitamura T 他	泌尿器科	Risk factors for human papillomavirus detection in urine samples of heterosexual men visiting urological clinics in Japan.	J Infect Chemother. 2018 Sep;24(9):713-717. doi: 10.1016/j.jiac.2018.04.011. Epub 2018 May 11.	Original Article
231	Kadono Y, Nohara T, Kawaguchi S 他	泌尿器科	Changes in penile length after radical prostatectomy: effect of neoadjuvant androgen deprivation therapy.	Andrology. 2018 Nov;6(6):903-908.	Original Article
232	Kadono Y.	泌尿器科	Editorial comment to Predictors of biochemical recurrence after retzius-sparing robot-assisted radical prostatectomy: Analysis of 359 cases with a median follow-up of 26 months	Int J Urol. 2018 Dec;25(12):1014	Others
233	Sakamoto J, Shigehara K, Nakashima K 他	泌尿器科	Etiological role of human papillomavirus infection in the development of penile cancer.	Int J Infect Dis. 2019 Jan;78:148-154. doi: 10.1016/j.ijid.2018.11.003. Epub 2018 Nov 10.	Original Article
234	Shigehara K, Konaka H, Kato Y 他	泌尿器科	Effect of testosterone replacement therapy on sexual function and glycemic control among hypogonadal men with type 2 diabetes mellitus.	Int J Impot Res. 2019 Jan;31(1):25-30. doi: 10.1038/s41443-018-0065-z. Epub 2018 Aug 22.	Original Article

5件

235	Yaegashi H, Izumi K, Kadomoto S 他	泌尿器科	High Serum CA19-9 Concentration Indicates High Chemosensitivity and Better Survival in Advanced Urothelial Carcinoma.	Anticancer Res. 2019 January ;39(1):375-380.	Original Article
236	Kato Y, Shigehara K, Nakashima K 他	泌尿器科	The Five-Year Effects of Testosterone Replacement Therapy on Lipid Profile and Glucose Tolerance among Hypogonadal Men in Japan: A Case Control Study.	Aging male 2019 Jan 16:1-6.	Original Article
237	Makino T, Nakashima K, Iijima M 他	泌尿器科	Health-related Quality of Life and Toxicity After Single-fraction High-dose- rate Brachytherapy With External Beam Radiotherapy for Localized and Locally Advanced Prostate Cancer.	Anticancer Res. 2019 January ; 39(1):477-486.	Original Article
238	Iwamoto H, Izumi K, Natsagdorj A 他	泌尿器科	Prognosis of patients with prostate cancer and middle range prostate-specific antigen levels of 20-100 ng/mL.	Int Braz J Urol. Vol. 45 (1): 61- 67, January - February, 2019	Original Article
239	Kawaguchi S, Kadono Y, Nohara T 他	泌尿器科	Suprapubic cystostomy during renal transplantation in a patient with a urethral stricture after hypospadias surgery: A case report	IJU Case Reports 2019 Feb; 2(2):77-79.	Original Article

5件

240	Kawaguchi S, Kadono Y, Nohara T 他	泌尿器科	A Case Report of Chyloretroperitoneum Post Living-Donor Transplantation.	Urol Int. 2019 Feb 20:1-3. doi: 10.1159/000497108.	Case report
241	Kadono Y	泌尿器科	Editorial Comment to Angiographic management of percutaneous renal procedure-related bleeding: A single-center experience.	Int J Urol. 2019 Mar;26(3):413.	Others
242	Kobayashi A, Yokogawa H, Mori N 他	眼科	Development of a donor tissue holding technique for Descemet's membrane endothelial keratoplasty using a 25-gauge graft manipulator	Case Rep Ophthalmol 2018-10, 9(3)、431-438	Original Article
243	Yokogawa H, Kobayashi A, Okuda T 他	眼科	Combined Keratoplasty, Pars Plana Vitrectomy, and Flanged Intrasceral Intraocular Lens Fixation to Restore Vision in Complex Eyes With Coexisting Anterior and Posterior Segment Problems	Cornea 2018-11、37(Suppl 1)、 S78-S85	Original Article
244	Higashide T, Nishino T, Sakaguchi K 他	眼科	Determinants of Corneal Endothelial Cell Loss After Trabeculectomy With Mitomycin C.	J Glaucoma 2019-1、28(1)、61- 67	Original Article

5件

245	Wakisaka N, Endo K, Kitazawa T, Shimode Y 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Detection of sentinel lymph node using contrast-enhanced agent, SonazoidTM, and evaluation of its metastasis with superb microvascular imaging in oral and oropharyngeal cancers: a preliminary clinical study	Acta Otolaryngologica 2019 Jan,139-1,94-99	Original Article
246	Hiroshi Fujiwara,Matsumoto H, Sato Y 他	産科婦人科	Factors regulating human extravillous trophoblast invasion: chemokine peptidase and CD9-integrin systems	Curr Pharm Biotechnol, 2018.19(10):764-770	Original Article
247	Mitsuhiro Nakamura, Nakade K, Orisaka S 他	産科婦人科	Comparison study of BD Onclarity HPV with digene HC2 high-risk HPV DNA Test and Roche Cobas 4800 HPV for detecting high-risk human papillomavirus in Japan,	Am J Clin Pathol 2019 Feb 4;151(3):263-269	Original Article
248	Kyosuke Kagami Shinmyo Y, Ono M 他	産科婦人科	Three-dimensional evaluation of murine ovarian follicles using a modified CUBIC tissue clearing method	Reprod Biol Endocrinol, 2018.Aug2,16(1):72	Original Article
249	Kayo Kayahashi, Mizumoto Y, Myojo S 他	産科婦人科	A successful case of neoadjuvant chemotherapy and radical hysterectomy during pregnancy for advanced uterine cervical cancer accompanied by neonatal erythroderma	J Obstet Gynaecol Res, 2018.Oct,44(10):2003-2007	Case report

5件

250	Nakajima K, Kaneko G, Takahashi S 他	核医学診療科	Role of bone scan index in prognosis and effects of therapy on prostate cancer with bone metastasis: Study design and rationale for multicenter PROSTAT-BSI study.	Int J Urol 2018;25(5):492-499	Original Article
251	Nakajima K, Nakamura S, Hase H 他	核医学診療科	Risk stratification based on J-ACCESS risk models with myocardial perfusion imaging: Risk versus outcomes of patients with chronic kidney disease.	J Nucl Cardiol 2018; doi: 10.1007/s12350-018-1330-8	Original Article
252	Nakajima K, Nakata T, Doi T 他	核医学診療科	Validation of two-year 123I-meta-iodobenzylguanidine-based cardiac mortality risk model in chronic heart failure.	Eur Heart J Cardiovasc Imaging 2018; 19: 749-756	Original Article
253	Nakajima K, Okuda K, Matsuo S 他	核医学診療科	Is 123I-metaiodobenzylguanidine heart-to-mediastinum ratio dependent on age? From Japanese Society of Nuclear Medicine normal database.	Ann Nucl Med 2018; 32: 175-181	Original Article
254	Nakajima K, Okuda K, Watanabe S 他	核医学診療科	Artificial neural network retrained to detect myocardial ischemia using a Japanese multicenter database.	Ann Nucl Med 2018; 32: 303-310	Original Article

5件

255	Matsuo S.	核医学診療科	Nuclear Cardiology Approach in Takotsubo Syndrome.	Ann Nucl Cardiol 2018; 4: 105-109	Others
256	Matsuo S, Mizokami A, Wakabayashi H 他	核医学診療科	The Imaging and Dosimetry for Targeted Ra-223 Treatment for Metastatic Castration-Resistant Prostate Cancer.	Austin J Nucl Med Radiother 2018; 5: 1024	Others
257	Kayano D, Kinuya S.	核医学診療科	Current Consensus on I-131 MIBG Therapy.	Nucl Med Mol Imaging 2018; 52: 254-265	Review
258	Wakabayashi H.	核医学診療科	Small Rodent Animal Positron Emission Tomography/Single Photon Emission Tomography, Clinical Nuclear Cardiology: Practical Applications and Future Directions.	Frontiers in Myocardia 2018; 2: 245-252	Others
259	Wakabayashi H, Taki J, Inaki A 他	核医学診療科	Quantification of Myocardial Perfusion Defect Size in Rats: Comparison between Quantitative Perfusion SPECT and Autoradiography.	Mol Imaging Biol 2018; 20: 544-550	Original Article

5件

260	Wakabayashi H, Taki J, Inaki A 他	核医学診療科	Prognostic Value of Early Evaluation of Left Ventricular Dyssynchrony After Myocardial Infarction.	Mol Imaging Biol 2018; doi: 10.1007/s11307-018-1279-7	Original Article
261	Mori H, Matsuo S.	核医学診療科	Evaluation of Cardiac Sympathetic Nerve Function using Iodine-123 Metaiodobenzylguanidine Scintigraphy.	Frontiers in Myocardia 2018; 2: 216-224	Others
262	Mori H, Nakajima K, Kadomoto S 他	核医学診療科	Imaging Somatostatin Receptor Activity in Neuroendocrine-differentiated Prostate Cancer.	Intern Med 2018; 57: 3123-3128	Others
263	Ishimiya M, Nakamura H, Kobayashi Y 他	歯科口腔外科	Tooth loss-related dietary patterns and cognitive impairment in an elderly Japanese population: The Nakajima study	PLoS One 13(3):e0194504, 2018	Original Article
264	Kobayashi, Y., Kitahara, H., Hirai, M. 他	歯科口腔外科	Selectively high efficacy of eribulin against high-grade invasive recurrent and/or metastatic squamous cell carcinoma of the head and neck.	Oncology Letter 2019 Jun;17(6):5064-5072.	Original Article

5件

265	Miyazawa, H., Kato, K., Kobayashi, Y. 他	歯科口腔外科	Clinicopathological significance of the ET axis in human oral squamous cell carcinoma. Pathol Oncol Res,	Pathology & Oncology Research 2018 Oct 31.	Original Article
266	Hira-Miyazawa M, Nakamura H., Hirai M., Kobayashi Y., Kitahara H. 他	歯科口腔外科	Regulation of programmed-death ligand in the human head and neck squamous cell carcinoma microenvironment is mediated through matrix metalloproteinase- mediated proteolytic cleavage.	International Journal of Oncology 2018 52: 379-388,	Original Article
267	Kitahara, H., Kobayashi Y., Hirai, M. 他	歯科口腔外科	Eribulin demonstrate selectively high sensitivity to recurrent and/or metastatic head and neck squamous cell carcinoma (R/M HNSCC) cells and xenograft tumors.	Annals of Oncology 2018 29:36P,	Original Article
268	Hirai, M., Kobayashi, Y., Miyazawa, MH. 他	歯科口腔外科	Matrix metalloproteinase- mediated regulation of programmed-death ligand in the human head and neck squamous cell carcinoma microenvironment.	Annals of Oncology 2018 29:22P,	Original Article
269	Ooi K, Inoue N, Matsushita K, Yamaguchi H 他	歯科口腔外科	Tei K.Incidence of anterior disc displacement without reduction of the temporomandibular joint in patients with dentofacial deformity.	International Journal of Oral & Maxillofacial Surgery 2018 47:505-510,	Original Article

5件

270	Naoki Mugii, Yasuhito Hamaguchi, Susanna Maddali-Bongi	リハビリテーション部	Clinical significance and usefulness of rehabilitation for systemic sclerosis.	Journal of Scleroderma and Related Disorders 2018,Vol.3.71-80,	Review
271	Naoki Mugii, Fujiko Someya	リハビリテーション部	Cardiopulmonary factors affecting 6-min walk distance in patients with idiopathic inflammatory myopathies	Rheumatology International 2018 August,Volume 38,Issue 8,pp 1443-1448	Original Article
272	Funada A, Goto Y, Tada H 他	救急部	Effects of prehospital epinephrine administration on neurologically intact survival in bystander-witnessed out-of-hospital cardiac arrest patients with non-shockable rhythm depend on prehospital cardiopulmonary resuscitation duration required to hospital arrival.	Heart and Vessels 2018 Dec;33(12):1525-1533	Original Article
273	Goto Yoshikazu, Funada Akira, Goto Yumiko.	救急科	Relationship between emergency medical services response time and bystander intervention in patients with out-of-hospital cardiac arrest	J Am Heart Assoc 2018 April; 7(9), e007568	Original Article
274	Goto Yoshikazu, Funada Akira, Goto Yumiko.	救急科	Impact of prehospital physician-led cardiopulmonary resuscitation on neurologically intact survival after out-of-hospital cardiac arrest: a nationwide population-based observational study	Resuscitation 2019 Mar;136:38-46	Original Article

5件

275	Goto Yoshikazu, Funada Akira, Maeda Tetsuo 他	救急科	Field termination-of-resuscitation rule for refractory out-of-hospital cardiac arrests in Japan.	J Cardiol 2019 Mar;73(3):240-246.	Original Article
276	Taniguchi H, Yamada T, Wang R, Tanimura K 他	がんセンター	AXL confers intrinsic resistance to osimertinib and advances the emergence of tolerant cells.	Nat Commun 2019 10(1) 259.	Original Article
277	Fukuda K, Takeuchi S, Arai S 他	がんセンター	Epithelial-to-mesenchymal transition is a mechanism of ALK inhibitor resistance in lung cancer independent of ALK mutation status.	Cancer Res 2019 79(7):1658-70.	Original Article
278	Tanimoto A, Takeuchi S, Kotani H 他	がんセンター	Pulmonary carcinosarcoma showing an obvious response to pazopanib: a case report.	BMC Pulmonary Medicine 2018 18(1):193.	Case report
279	Nishiyama A, Yamada T, Kita K 他	がんセンター	Foretinib overcomes entrectinib resistance associated with the NTRK1 G667C mutation in NTRK1 fusion-positive tumor cells in a brain metastasis model.	Clin Cancer Res, 2018 24:2357-69.	Original Article

5件

280	Kotani H, Adachi Y, Kitai H 他	がんセンター	Distinct dependencies on receptor tyrosine kinases in the regulation of MAPK signaling between BRAF V600E and non-V600E mutant lung cancers.	Oncogene 2018 Mar;37(13):1775-1787.	Original Article
281	Hioki M, Shimada T, Yuan T 他	薬剤部	Contribution of equilibrative nucleoside transporters 1 and 2 to gemcitabine uptake in pancreatic cancer cells	Biopharm Drug Dispos 2018 MAY 39(5) 256-264	Original Article
282	Hashimoto S, Honda K, Fujita K 他	薬剤部	Effect of coadministration of rifampicin on the pharmacokinetics of linezolid: clinical and animal studies	J Pharm Health Care Sci 2018 NOV 12;4:27	Original Article
283	Shimura Y, Izumi K, Itai S 他	薬剤部	Palonosetron on Days 1 and 5 Versus Granisetron Daily (Days 1-5) in Germ Cell Tumour Therapy.	In Vivo. 2019 33(2):643-647	Original Article
284	Takemori-Sakai Y, Iwata Y, Oe H 他	検査部	Bloodstream infection caused by Mycobacterium chelonae.	Pediatr Int 2018 Jun; 60(6):599-600	Case report

5件

285	Nakade Y, Iwata Y, Furuichi K 他	検査部	Gut microbiota-derived D-serine protects against acute kidney injury.	JCI Insight 2018 Oct; 3(20): e97957	Original Article
286	Ninomiya I, Okamoto K, Fushida S 他	光学医療診療部	Survival benefit of multimodal local therapy for repeat recurrence of thoracic esophageal squamous cell carcinoma after esophagectomy	Esophagus 2019.01, 16(1):107-113	Original Article
287	Mizushima I, Yamada K, Harada K 他	研修医・専門医総合教育センター	Diagnostic sensitivity of cutoff values of IgG4-positive plasma cell number and IgG4-positive/CD138-positive cell ratio in typical multiple lesions of patients with IgG4-related disease.	Mod Rheumatol. 28(2):293-299,2018	Original Article

3件

計 287件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 審査対象に関する事項、委員会の組織に関する事項、委員会の会議に関する事項、申請手続き及び結果の報告に関する事項、疑義申立てに関する事項、迅速審査に関する事項、実施状況の調査等に関する事項、資料の入手に関する事項、委員会の運営に関する事項、記録の保存に関する事項	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 委員会の目的及び職務に関する事項、委員会の組織及び組織運営に関する事項	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年16回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年8回
・ 研修の主な内容 臨床研究の研究責任者、研究分担者その他の研究の実施に携わる者又は今後研究の実施に携わる予定の者及び臨床研究審査委員会委員を対象に、臨床研究法に関する事項、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に関する事項、研究デザインに関する事項、臨床研究の品質保証に関する事項、その他医学系研究の実施に当たり必要となる知識・技術等に関連する事項について講習会を実施	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各専門研修プログラムに沿って各診療科（部）に所属し、大学病院（医員など）及び関連病院を循環しながら修練を行い、それぞれの学会等の専門医、あるいは認定医の資格の取得を目指します。

また、診療技術の習得だけでなく、臨床研究も行うことが可能です。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	192 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
金子 周一	消化器内科	科長	37年	
篁 俊成	内分泌・代謝内科	科長	31年	
川野 充弘	リウマチ・膠原病内科	科長	32年	
笠原 寿郎	呼吸器内科	科長	33年	
高村 雅之	循環器内科	科長	27年	
和田 隆志	腎臓内科	科長	30年	
中尾 眞二	血液内科	科長	39年	
野村 英樹	総合診療科	科長	31年	
山田 正仁	脳神経内科	科長	39年	
菊池 充	神経科精神科	科長	25年	
和田 泰三	小児科	科長	27年	
香田 渉	放射線科	科長	24年	
高松 繁行	放射線治療科	科長	18年	
竹原 和彦	皮膚科	科長	40年	
小川 恵子	漢方医学科	科長	22年	
竹村 博文	心臓血管外科	科長	34年	
松本 勲	呼吸器外科	科長	28年	
伏田 幸夫	胃腸外科	科長	33年	
太田 哲生	肝胆膵・移植外科	科長	40年	
森山 秀樹	内分泌・総合外科	科長	16年	
伏田 幸夫	乳腺科	科長	33年	
土屋 弘行	整形外科	科長	36年	
溝上 敦	泌尿器科	科長	32年	
杉山 和久	眼科	科長	35年	
吉崎 智一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	科長	33年	
藤原 浩	産科婦人科	科長	36年	
谷口 巧	麻酔科蘇生科	科長	28年	
中田 光俊	脳神経外科	科長	25年	
絹谷 清剛	核医学診療科	科長	33年	
八幡 徹太郎	リハビリテーション科	科長	27年	
後藤 由和	救急科	科長	35年	
池田 博子	病理診断科	科長	17年	
谷口 巧	集中治療部	部長	28年	
矢野 聖二	がんセンター	センター長	29年	
川尻 秀一	歯科口腔外科	科長	31年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容<ul style="list-style-type: none">・新規採用職員オリエンテーション（詳細別添） 新規採用職員に対し、本院職員として職務遂行に必要な知識及び心構え等の基本的な事項を習得させ、資質向上と業務効率の増進を図ることを目的とする。・研修の期間・実施回数<ul style="list-style-type: none">・平成30年4月2日（月）～平成30年4月4日（水）・研修の参加人数<ul style="list-style-type: none">・139名（うち、医師・歯科医師以外の者は96名）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容<ol style="list-style-type: none">1. 情報セキュリティ研修2. ダイバーシティ研修3. 接遇研修4. 安全衛生講習会・研修の期間・実施回数<ol style="list-style-type: none">1. 平成30年7月3日（火）～平成31年3月31日（日）※e-ラーニング2. 平成30年9月25日（火）～平成30年10月31日（水）※e-ラーニング3. 平成31年2月13日（水）4. 平成31年3月11日（月）・研修の参加人数<ol style="list-style-type: none">1. 445名2. 77名3. 168名4. 53名
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

平成30年度 新規採用職員オリエンテーション日程表

日程:平成30年4月2日(月)、3日(火)、4日(水)

会場:宝ホール(外来診療棟4階)

	4月2日(月)	4月3日(火)	4月4日(水)
8:30	受付 (8:30~8:40)	感染対策について 感染制御チーム(ICT) 看護師 感染制御チーム(ICT) 医師 感染制御チーム(ICT) 薬剤師 感染制御チーム(ICT) 臨床検査技師	リスクマネジメントについて (インフォームドコンセント、輸血に係る説明を含む) 医療安全管理部 GRM(医師) 医療安全管理部 GRM(看護師) 医療安全管理部 GRM(薬剤師) ME機器管理センター 臨床工学技士長
	辞令交付(病院長から) (8:40~9:00)		
9	幹部職員紹介 (9:00~9:05)		
	訓示・病院の概要について 病院長 (9:05~9:25)		
	オリエンテーション日程説明 (9:25~9:30)		
	経営戦略について 病院長補佐(経営企画、医療情報担当) (9:30~10:00)		
10	個人情報の取り扱いについて 病院情報システムの利用について 経営企画部長 (10:00~10:45)	休憩 (10:15~10:30)	休憩 (10:15~10:30)
	休憩 (10:45~11:00)	臨床倫理について 臨床倫理コンサルティングチーム リーダー (10:30~11:15)	医療人として必要な基本姿勢・態度 (「患者さんの権利」及び「患者さんに守っていただくこと」を含む) 看護部副看護部長(教育担当) 看護部副看護部長(医療安全担当) 医事課副課長(患者支援担当)
11	診療報酬制度について 医事課副課長(診療支援担当) (11:00~11:30)		
	事務手続き等について 総務課各担当係 (11:30~12:00)		
12	昼 食 (12:00~13:00)		
13	医療用放射線の安全性について 放射線部 診療放射線技師長 (13:00~14:00)	情報セキュリティ対策について ネットワークIDの取得と利用について 情報化推進室 (13:00~13:25)	ハラスメントの防止について 学長補佐(ハラスメント防止担当) (13:00~14:00)
14	チーム医療と看護業務 看護部副看護部長(総務担当) (14:00~15:00)		
		防火管理について 防火訓練、災害対応、施設説明、 ストレッチャー訓練 総務課総務係長 看護部看護師長(キャリア開発センター) (13:25~15:00) ※消火器、消火栓等を使用して屋外で行います。汚れてもよい服装で参加してください。	先輩からのメッセージ 「1年間(新人時代)を振り返って」 H29採用職員、若手職員等 (14:00~15:00)
15	初期臨床研修医 (研修医・専門医 総合教育センター による研修)	初期臨床研修医 (研修医・専門医 総合教育センター による研修)	初期臨床研修医 (研修医・専門医 総合教育センター による研修)
	看護師 (看護部による研修)	看護師 (看護部による研修)	看護師 (看護部による研修)
	その他の職員 (職場研修)	その他の職員 (職場研修)	その他の職員 <u>[BLS研修]</u> 15:10~病棟2階カンファレンスルーム

院内研修としてオリエンテーション対象者以外の職員も受講可(新規採用医員必須)

院内研修としてオリエンテーション対象者以外の職員も受講可(新規採用医員優先)

職種毎の研修になりますので、所属部署の指示に従ってください。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 蒲田 敏文	
管理担当者氏名	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器内科長 金子 周一 ・リウマチ・膠原病内科長 川野 充弘 ・循環器内科長 高村 雅之 ・血液内科長 中尾 眞二 ・脳神経内科長 山田 正仁 ・小児科長 和田 泰三 ・放射線科長 香田 渉 ・皮膚科長 竹原 和彦 ・漢方医学科長 小川 恵子 ・呼吸器外科長 松本 勲 ・肝胆膵・移植外科長 太田 哲生 ・乳腺科長 伏田 幸夫 ・脊椎・脊髄外科長 出村 諭 ・眼科長 杉山 和久 ・産科婦人科長 藤原 浩 ・脳神経外科長 中田 光俊 ・歯科口腔外科長 川尻 秀一 ・救急科長 後藤 由和 ・薬剤部長 崔 吉道 ・経営管理課長 元谷内 洋志 ・内分泌・代謝内科長 篁 俊成 ・呼吸器内科長 笠原 寿郎 ・腎臓内科長 和田 隆志 ・総合診療科長 野村 英樹 ・神経科精神科長 菊知 充 ・子どものこころの診療科長 菊知 充 ・放射線治療科長 高松 繁行 ・形成外科長 小室 明人 ・心臓血管外科長 竹村 博文 ・胃腸外科長 伏田 幸夫 ・内分泌・総合外科長 森山 秀樹 ・整形外科長 土屋 弘行 ・泌尿器科長 溝上 敦 ・耳鼻咽喉科・頭頸部外科長 吉崎 智一 ・麻酔科蘇生科長 谷口 巧 ・核医学診療科長 絹谷 清剛 ・リハビリテーション科長 八幡 徹太郎 ・病理診断科長 池田 博子 ・総務課長 北村 久美子 ・医事課長 山田 浩美 	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	に掲げる事項 規則第二十二條の三第二項	病院日誌	医事課
		各科診療日誌	医事課
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	看護部、医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	医事課
		紹介状	医事課
病院の管理及び運営に関する諸記録	掲げる事項 規則第二十二條の三第三項に	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	経営管理課、医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課、経営管理課 医薬保健系事務部
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部
第一規則	規則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課
		医療に係る安全管理のための委	医事課

		員会の開催状況		
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医事課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医事課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部、医事課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部、医事課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医事課	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課、ME 機器管理センター、放射線部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部、医事課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課、医事課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課、医事課
		職員研修の実施状況	医事課、総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医事課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務部		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 蒲田 敏文	
閲覧担当者氏名	総務課長 北村 久美子	
閲覧の求めに応じる場所	会議室	
閲覧の手続の概要 諸記録の開示（閲覧を含む）を請求する者（以下「開示請求者」）は、国立大学法人金沢大学に対し、法人文書開示請求書を提出する。 国立大学法人金沢大学は、開示請求があった日から特別な場合を除き30日以内に開示決定等を行い、開示請求者に通知する。 開示請求者は、法人文書開示決定通知書を本院へ持参し、閲覧を実施する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 職員ひとりひとりが安全に関する認識を高め、医療事故防止に積極的に取り組むと同時に、病院全体としても組織的に医療に係る安全管理事故防止に取り組み、医療事故等の未然の防止を目指す。</p> <p>(2) 医療安全管理委員会、医療安全管理部、医療安全管理者、リスクマネジャー等による医療安全管理体制を整備し、病院全体として医療事故防止及び医療全体の向上に努める。</p> <p>(3) 医療安全管理のための研修を企画し、病院職員全体が2回以上受講できるようにする。</p> <p>(4) 「医療事故防止マニュアル」の作成、医療事故等の報告事例の検討など、医療安全の確保を目的とした改善方策を実施する。</p> <p>(5) 医療事故が発生した場合にはおいては、「医療安全管理マニュアル」に沿って対応し、医療上の最善の処置を講ずる。また、患者家族に対して事実を速やかにわかりやすく説明する。</p> <p>(6) 患者との信頼関係を築くため、また開かれた医療を推進するため、情報の開示及び提供に積極的に対応していく。</p> <p>(7) 患者相談室を設置し、患者及び家族からの医療安全に関する要望、苦情及び不満を真摯に受け止め、その解決に尽力する。</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有）</p> <p>・ 開催状況：年 12 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策に関すること。</p> <p>(2) 医療事故防止対策に関すること。</p> <p>(3) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。</p> <p>(4) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。</p> <p>(5) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。</p> <p>(6) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。</p> <p>(7) 安全管理のための教育及び研修に関すること。</p> <p>(8) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。</p> <p>(9) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年6回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>【平成30年度医療安全研修】</p> <p>6/11「医薬品副作用被害救済制度をご存じですか」「インフォームド・コンセント」</p> <p>7/23「医療安全に関する法的観点」</p> <p>7/27「RRT（Rapid Response Team）活動について」</p> <p>8/28「酸素HFT」「内視鏡機器の取り扱い」「除細動器とAED」「医療材料の使用期限管理・確認について」「SPDについて」</p> <p>9/11「インシデントについて 医療安全 基本の「き」」</p> <p>10/5「あなたの理解している「倫理」って間違ってますか？」</p> <p>【その他】※4月に1回、その後は随時開催 新規採用者研修「リスクマネジメントについて」</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 事故報告等の分析結果を現場へフィードバック
 - 医療従事者の医療事故防止に関する教育
 - 事故防止のための基礎知識の提供
 - 事故報告書等から必要なマニュアルを作成
 - インシデントサマリーに再発防止策を提案
 - 事故防止マニュアルの見直し
 - GRM等による医療現場のラウンド
 - 院内の医療安全ニュースや啓発ポスターの配布
 - 院外の事故情報の提供による注意喚起

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会に関する基本的事項 3. 従事者に対する院内感染対策のための研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 抗菌薬の適正使用に関する基本方針 8. 院内感染対策の推進のために必要なその他の基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の事項を審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内感染予防の方策及び監視に関すること。 (2) 院内感染対策のガイドラインの策定及びその実施に関すること。 (3) 院内感染についての教育活動に関すること。 (4) 院内感染の調査に関すること。 (5) 感染制御部の運営に必要な事項に関すること。 (6) その他院内感染に関して委員会が必要と認める事項。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年4回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>【平成30年度】 「院内感染および抗菌薬適正使用支援チームについて」5/25 「抗菌薬治療および嘔吐物の処理について」7/20 「栄養セミナー」11/30 「褥瘡対策講演会」3/4</p> <p>【その他】 新規採用者研修（随時開催） 対象別研修（毎年）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備（有）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内感染サーベイランスの実施と分析・評価 (2) ICTラウンドによる感染対策実施工動の確認と指導 (3) 職業感染防止対策のための計画・実施・改善 (4) 感染管理システムを活用した情報共有 (5) 感染制御担当者（ICM）による現場における院内感染対策活動の実施及び所属職員への周知徹底 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>平成30年度実施 医療安全研修（医薬品安全管理：平成30年6月11日実施） 「医薬品副作用救済制度」をご存じですか？」</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成（有・無）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医薬品の採用 2) 医薬品情報の収集・管理・提供 3) 医薬品の購入管理 4) 外来および入院患者への医薬品の処方・交付 5) 病棟・中央診療施設・外来部門における医薬品の管理 6) 外来および入院患者への情報提供および薬学的指導 7) 院内製剤の取り扱い 8) ハイリスク薬の取り扱い 9) 放射性医薬品の安全管理・安全使用 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備（有・無）</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 成人still病に対するトシリズマブ（アクテムラ注）の適応外使用 成人発症Still病にて当院入院加療中の患者。病勢コントロールため多剤（シクロスポリン＋MTX＋ステロイド）投薬中であつたが、効果不十分であり、ステロイド長期投与による副作用リスクも危惧される状態であつた。アクテムラ注は、日本リウマチガイドラインでエビデンスが蓄積中の治療法であり、本症例に適応であると判断され投薬となつた。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 未承認等の医薬品の使用の情報については調剤担当薬剤師や病棟担当薬剤師が処方鑑査で把握する。把握した内容を副薬剤部長が集約し、医薬品安全管理責任者（薬剤部長）に適宜報告するとともに、根拠資料（ガイドライン、文献等）を集積・保管する。 未承認等の医薬品および採用されている医薬品全般の情報については、医薬品情報管理担当薬剤師が添付文書その他、医薬品製造販売業者、行政機関、学術誌等から収集・管理し、必要なものについては当該医薬品を取り扱う医療スタッフに周知する。 医薬品安全管理責任者は、院内各部署に置く医薬品安全管理主任者（リスクマネージャーが兼務）の立ち会いの下に定期的に院内ラウンドを実施し、医薬品安全使用のための業務の実施状況を確認する。改善が必要と認められる事案についてはこれを指示し、結果を医療安全管理委員会に報告する。また未承認等医薬品の情報等をふまえ、必要に応じて診療科等に注意喚起情報を周知する。</p>	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年54回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 有効性、安全性に関する事項、使用方法、保守点検に関する事項、不具合等が発生した場合の対応、使用に関して特に法令上遵守すべき事項 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 外観チェック、動作チェック、漏れ電流チェック、精度管理、バッテリー性能チェック 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例(あれば)： 該当なし ・ その他の改善のための方策の主な内容： 定期点検時の点検項目や方法の見直し 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<p>・責任者の資格（医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>副病院長（医療安全担当）が医療安全管理責任者として、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（2名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報管理担当者がPMDAメディナビやメーカーからの情報、文献、新聞等から収集、整理し、緊急度や周知すべき対象等に応じて、院内メールや印刷物の配布を行う。電子カルテシステム内の医薬品情報web検索システムや院内業務支援ページより閲覧が可能。また病棟担当者等による病棟勉強会や、院内の医薬品安全管理研修会での周知も定期的に行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>病棟担当および調剤担当の薬剤師が処方監査で、また薬剤師が常駐していない診療科等においてはリスクマネジャーが未承認等の医薬品の処方を把握している。対応内容は、担当副薬剤部長に集約し、薬剤部長（医薬品安全管理責任者）に適宜報告するとともに、エクセルファイルと根拠資料（ガイドラインや文献）をファイリングして、事例を集積している。また併用禁忌薬については医薬品情報管理担当者が部門システムを用いて定期的リストアップし薬剤部長に報告している。今後は、電子カルテにJAPICデータベースを搭載し、病名からもチェックが可能なシステムを準備中である。</p> <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="radio"/>（有） <input type="radio"/>（無）</p> <p>・担当者の所属・職種：別紙のとおり</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容・医療安全管理者等によるIC監査を実施した。(年2回)</p> <p>・主な指導内容：</p> <p>① 悪性腫瘍剤の多くは治療開始に先立ち、有効性や危険性を十分説明し、同意を得てから投与するため、化学療法においてもインフォームドコンセントを取得すること。</p> <p>② 説明書と同意文書について原紙を診療録に保管するとともに、イメージファイル化して電子カルテに保管すること。</p> <p>③ 同一手技による行為であっても、一連の予定された行為で予定日も含め説明していない場合は、同意取得は毎回必要であること。</p> <p>④ インフォームドコンセントの標準テンプレートの申請を行っていない医療行為やテンプレート改定があれば、医療安全管理部にて随時申請を受け付けている。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>各診療科の監査担当医が実施した診療録監査、インフォームド・コンセント監査の結果をもとに、診療録等の管理責任者が記載状況及び内容の確認を行った。(年6回)</p> <p>主な指導内容：インフォームドコンセント実施時、経過記録への説明内容及び患者の理解度等の記載。検査、手術、麻酔に関する要点の経過記録への記載等</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<p>・所属職員：専従(3)名、専任(2)名、兼任(11)名</p> <p>うち医師：専従(1)名、専任(2)名、兼任(4)名</p> <p>うち薬剤師：専従(1)名、専任(0)名、兼任(1)名</p> <p>うち看護師：専従(1)名、専任(0)名、兼任(3)名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策の企画・立案及び業務改善計画に関すること。</p> <p>(2) 医療安全管理マニュアルの作成等に関すること。</p> <p>(3) 安全管理のための教育及び研修の企画・運営に関すること。</p> <p>(4) インシデント報告及び患者の死亡若しくは死産報告の調査・分析に関すること。</p> <p>(5) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。</p> <p>(6) 医療事故等に係る診療録及び看護記録等の記載状況の確認・指導に関すること。</p>	

- (7) 患者及び家族等への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認・指導に関すること。
 (8) 医療事故等に係る原因究明の確認及び指導に関すること。
 (9) 金沢大学附属病院医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成、保存その他当該委員会の事務に関すること。
 (10) その他医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策に関すること。

【モニタリングの具体例】

- ・入院患者に対する肺血栓栓症リスク評価と予防策の実施率
- ・注射薬投与時のPDA認証の実施率
- ・RRTコール報告

・医療安全研修の受講状況の把握及びアンケートにより理解度の調査。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（6件）、及び許可件数（7件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
 - (1) 高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。
 - (2) 高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。
 - (3) その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（0件）、及び許可件数（0件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・活動の主な内容：

- (1) 高難度新規医療技術等の提供の適否決定に関すること。
- (2) 高難度新規医療技術等の提供後の確認に関すること。
- (3) その他高難度新規医療技術等の提供に関すること。

※高難度新規医療技術等とは、高難度新規医療技術及び未承認新規医薬品等を用いた医療のことをいう

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年279件

・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年63件

・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

- (1) 医療に係る安全管理対策に関すること。
- (2) 医療事故防止対策に関すること。
- (3) 発生した医療事故等の原因の調査及び分析に関すること。
- (4) 分析結果を活用した改善策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること。
- (5) 改善策の実施状況の調査及び当該方策の見直しに関すること。
- (6) 患者が死亡若しくは死産した場合及び濃厚な処置や治療を要した事象が発生した場合の報告の実施状況の確認に関すること。
- (7) 安全管理のための教育及び研修に関すること。
- (8) その他医療に係る安全管理及び医療事故防止に関すること。
- (9) 改善策の実施状況の調査等の目的のため、定期的に関係部署の巡回を行う

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・ 他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：島根大学医学部附属病院）・無）

・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：岡山大学病院）・無）

・ 技術的助言の実施状況

・ モニタリング項目の追加の検討について、RRTへのコール状況をモニタリング項目に追加し、令和元年度からは画像診断・病理診断の未読・既読についてモニタリングをする予定である。

・ 人員の増加については、令和元年度から専従医師を1名配置するとともに。画像診断レポートの未読・既読のモニタリングに対応するため、事務職員を1名増員した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者相談室、地域医療連携室、がん相談支援センターにおいてGRM、ソーシャルワーカー、事務職員が相談窓口となり対応している。窓口活動については院内にポスターを掲示しパンフレットを配置するとともに、インターネットに掲載している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

【医療安全】

7/23「医療安全に関する法的観点」

9/11「インシデントについて 医療安全 基本の「き」」

10/5「あなたの理解している「倫理」って間違ってますか？」

【感染制御】

5/25「院内感染とクロストリジウム・ディフィシル感染症について」「抗菌薬適正チーム（AST）の活動について」

7/20「抗菌薬での治療に難渋した症例について」「嘔吐物の処理方法を学ぼう」

11/30「腸の栄養管理と感染対策」

3/4「褥瘡対策講演会」

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

公益財団法人日本医療機能評価機構主催の特定機能病院管理者研修に管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全責任者及び医療機器安全管理責任者が参加した。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

別紙

13. 医薬品に係る安全管理のための体制の確保

⑬ 医療法施行規則第9条の23第1項第3号に規定する事項

医薬品安全管理責任者が指名した担当者

氏名	職名	担当
山本奈歩	薬剤師	医薬品情報管理担当者
原 祐輔	薬剤師	調剤担当
長田 幸恵	薬剤師	調剤担当
横井 祐子	薬剤師	調剤担当
橋本 さつき	薬剤師	調剤担当
川上 貴裕	薬剤師	調剤担当
矢口 邦子	薬剤師	調剤担当
磯田 和也	薬剤師	調剤担当
川岸 篤史	薬剤師	調剤担当
辻 千明	薬剤師	調剤担当
磯田 紗弥香	薬剤師	調剤担当
中川 祐紀子	薬剤師	調剤担当
三坂 恒	薬剤師	調剤担当
志村 裕介	薬剤師	調剤担当
金丸 絵莉	薬剤師	調剤担当
樋口 真衣子	薬剤師	調剤担当
下川 頌子	薬剤師	調剤担当
西上 真	薬剤師	調剤担当
堀 祐貴	薬剤師	調剤担当
山崎 京介	薬剤師	調剤担当
山口 奈那子	薬剤師	調剤担当
岡野 麻衣	薬剤師	調剤担当
酒井 佳奈	薬剤師	調剤担当
西崎 綾菜	薬剤師	調剤担当
小竹 萌子	薬剤師	調剤担当
毛利 真子	薬剤師	調剤担当
野田 佳加	薬剤師	調剤担当
金 俊孝	薬剤師	調剤担当
寺田 早苗	薬剤師	調剤担当
北間 基子	薬剤師	調剤担当
小川 由紀	薬剤師	調剤担当

坂田 明子	薬剤師	病棟担当
坪内 清貴	薬剤師	病棟担当
浅井 泰詞	薬剤師	病棟担当
高林 真貴子	薬剤師	病棟担当
塩本 佑季子	薬剤師	病棟担当
吉田 幸司	薬剤師	病棟担当
伊藤 智代	薬剤師	病棟担当
加藤 彩香	薬剤師	病棟担当
島田 拓弥	薬剤師	病棟担当
高廣 理佳子	薬剤師	病棟担当
毛利 香菜	薬剤師	病棟担当
木村 円	薬剤師	病棟担当
速水 良恵	薬剤師	病棟担当
森永 光	薬剤師	病棟担当
荒木 美帆	薬剤師	病棟担当
依田 ゆり子	薬剤師	病棟担当
東 昂翔	薬剤師	病棟担当
太田 侑歩	薬剤師	病棟担当
五十嵐 佑貴	薬剤師	病棟担当
水野 ふみ	薬剤師	病棟担当

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 高度かつ先進的な医療を提供する特定機能病院の管理者として、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を有するとともに次に掲げるいずれかの業務に従事した経験を有する者 <ul style="list-style-type: none"> ① 医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者又は医療機器安全管理責任者の業務 ② 医療安全管理委員会の構成員としての業務 ③ 医療安全管理部門における業務 ④ その他病院全体に係る上記に準ずる業務 (2) 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 病院の管理運営にあたり、金沢大学附属病院又は金沢大学附属病院以外での組織管理経験があり、病院職員の意見反映に留意しつつ、医療を取り巻く様々な外的変化に適切に対応し、強いリーダーシップを発揮できる者 (3) 金沢大学附属病院の基本理念及び基本方針を確実に遂行できる者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> ・ 無) ・ 公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトにて公表

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

<p>前年度における管理者の選考の実施の有無</p>	<p>有・<input checked="" type="radio"/></p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有・無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有・無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有・無) ・ 公表の方法 				
<p>管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由</p>				
<p>氏名</p>	<p>所属</p>	<p>委員長 (○を付す)</p>	<p>選定理由</p>	<p>特別の関係</p>
				<p>有・無</p>

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無		
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中期目標・中期計画及び年度計画に関する事項 (2) 規程の制定または改廃に関する事項 (3) 予算及び執行並びに決算に関する事項 (4) 自ら行う点検及び評価に関する事項 (5) その他管理運営に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 <p style="margin-left: 20px;">病院長が医局長会議（運営会議委員以外の全関係部署の代表者が出席）で、病院運営会議の内容を説明・報告し、各部署で運営会議委員又は医局長会議委員が周知している。</p> <p style="margin-left: 20px;">また、会議資料は、大学のネットワーク内でPC等で常時閲覧可能としている。</p> ・合議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・公表の方法 <p style="margin-left: 20px;">金沢大学附属病院Webサイトにて公表</p> ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
蒲田 敏文	○	教授・医師	附属病院長、金大病院 CPD センター長
金子 周一		教授・医師	消化器内科長、肝臓セ ンター長、疾病予防セ ンター長
篁 俊成		教授・医師	内分泌・代謝内科長、 糖尿病センター長、内 分泌センター長
川野 充弘		講師・医師	リウマチ・膠原病内科 長
笠原 寿郎		准教授・医師	呼吸器内科長
高村 雅之		教授・医師	循環器内科長、冠動脈 疾患治療部長、ハート センター長
和田 隆志		教授・医師	腎臓内科長・検査部長
中尾 眞二		教授・医師	血液内科長、高密度無 菌治療部長、造血細胞 移植センター長

野村 英樹		特任教授・医師	総合診療科長、総合診療部長
山田 正仁		教授・医師	脳神経内科長、電子顕微鏡センター長
菊知 充		教授・医師	神経科精神科長、子どもこころの診療科長
和田 泰三		教授・医師	小児科長、感染制御部長
香田 渉		准教授・医師	病院長補佐、放射線科長
高松 繁幸		講師・医師	放射線治療科長
竹原 和彦		教授・医師	皮膚科長
小室 明人		講師・医師	形成外科長
小川 恵子		特任准教授・医師	漢方医学科長
竹村 博文		教授・医師	副病院長、心臓血管外科長、ME機器管理センター長
松本 勲		准教授・医師	呼吸器外科長
伏田 幸夫		准教授・医師	胃腸外科長、乳腺科長
太田 哲生		教授・医師	肝胆膵・移植外科長
森山 秀樹		助教・医師	内分泌・総合外科長
土屋 弘行		教授・医師	副病院長、整形外科長
出村 諭		准教授・医師	脊椎・脊髄外科長
溝上 敦		教授・医師	泌尿器科長
杉山 和久		教授・医師	眼科長、材料部長
吉崎 智一		教授・医師	副病院長、耳鼻咽喉科・頭頸部外科長、研修医・専門医総合教育センター長
藤原 浩		教授・医師	産科婦人科長、周産母子センター長
谷口 巧		教授・医師	麻酔科蘇生科長、手術部長、集中治療部長、麻酔部長
中田 光俊		教授・医師	脳神経外科長
絹谷 清剛		教授・医師	副病院長、核医学診療科長、アイソトープ部長
川尻 秀一		教授・歯科医師	歯科口腔外科長
八幡 徹太郎		講師・医師	リハビリテーション科長、リハビリテーション部長
矢野 聖二		教授・医師	副病院長、がんセンター長
後藤 由和		准教授・医師	救急科長、救急部長
池田 博子		准教授・医師	病理診断科長、病理部長
小林 聡		教授・医師	放射線部長

山崎 宏人		准教授・医師	輸血部長
二宮 致		准教授・医師	光学医療診療部長
谷内江 昭宏		特任教授・医師	副病院長, 医療安全管理部長
加畑 多文		准教授・医師	地域医療連携室長
宮下 知治		講師・医師	栄養管理部長
北村 和哉		助教・医師	炎症性腸疾患センター長
大坪 公士郎		講師・医師	外来化学療法センター長
稲葉 英夫		教授・医師	救命センター長
島上 哲朗		特任教授・医師	地域医療教育センター長
村山 敏典		教授・医師	病院長補佐、臨床開発部長、先端医療開発センター長
山田 圭輔		准教授・医師	緩和ケアセンター長
渡邊 淳		特任教授・医師	遺伝診療部長
崔 古道		教授・薬剤師	病院長補佐、薬剤部長
長瀬 啓介		教授・医師	病院長補佐、経営企画部長
渡邊 真紀		看護師	副病院長、看護部長
大久保 進		事務	病院長補佐、病院部長
松浦 幸広		放射線技師	放射線部技師長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ・無 ）
- ・ 公表の方法
金沢大学附属病院Webサイトにて公表
- ・ 規程の主な内容
 - ・ 病院長は、本院を代表し、本院の経営及び管理運営等の業務を総括するとともに、職員等を指揮監督する。
 - ・ 病院長の任務
 - (1) 本院の運営、管理及び経営に関すること。
 - (2) 診療部門長、診療科長、中央診療施設の長等の任命に関すること。
 - (3) 診療科及び各中央診療施設等への人員配置に関すること。
 - (4) 病院内組織の設置、廃止及び統合に関すること。
 - (5) 病床、診察室等の配分及び利用形態に関すること。
 - (6) 予算の院内配分に関すること。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
副病院長7名（医療安全、広報・地域医療連携、診療、総務・人事、臨床教育、研究、看護）
病院長補佐6名 病院長の指示する重要事項を担当（臨床研究開発、経営企画・医療情報、薬剤、院長業務補佐、事務、特命事項）
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - ・ 国立大学附属病院長会議が実施する「病院長塾」に副病院長が参加しているほか、同会議が実施する国立大学病院事務専門研修や国立大学附属病院経営分析ワークショップ等に職員を参加させ、育成を図っている。
 - ・ 日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に病院長、副病院長及び病院長補佐が参加している。
 - ・ 事務系職員の一部について、大学事務職員とは別枠で医事系の専門資格を有する事務職員の採用試験を行っている。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況		<input checked="" type="radio"/> ・無			
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理責任者，医療安全管理部門，医療安全管理委員会，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者等の業務の状況について附属病院長(以下「病院長」という。)等から報告を求め，又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>(2) 必要に応じ，学長又は病院長に対し，医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>(3) 前 2 号に掲げる業務について，その結果を公表すること。</p> <p>(4) その他医療に係る安全管理の監査に関し必要な事項</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/>・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/>・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/>・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/>・無)</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>本院のホームページに掲載している。</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
長島 久	富山大学附属 病院	○	医療の質・安全推進部長として医療安全に関する業務に従事しているため	有・ <input checked="" type="radio"/>	1

麻生 小夜	金沢あおば法律事務所		弁護士として法律に関する専門知識に基づき、業務を行っているため	有・ 無	1
和田 真由美	血液疾患の患者の会「萌の会」		「萌の会」の代表として活動しており、医療を受ける立場から意見を述べることができるため	有・ 無	2
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
金沢大学の業務監査として、法人監査室が附属病院を含む業務監査及び会計監査等を行っている。

- ・ 専門部署の設置の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・ 無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (・ 無)
- ・ 公表の方法
金沢大学附属病院Webサイトにて公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 経営協議会において、附属病院を含む金沢大学の経営に関する重要事項、組織及び運営の状況についての自ら行う点検及び評価に関する事項等を審議している。 ・ 会議体の実施状況（ 年6回 ※平成30年度実績 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（ 年5回 ※平成30年度実績 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ） ・ 公表の方法 金沢大学附属病院Webサイトにて公表 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：経営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
山崎 光悦	金沢大学長	○	有・無
向 智里	金沢大学理事・副学長		有・無
大竹 茂樹	金沢大学理事・副学長		有・無
氷見谷 直紀	金沢大学理事・副学長		有・無
村井 敦志	金沢大学人間社会研究域長		有・無
青木 健一	金沢大学理工研究域長		有・無
中村 裕之	金沢大学医薬保健研究域長		有・無
蒲田 敏文	金沢大学附属病院長		有・無
上村 大輔	神奈川大学特別招聘教授		有・無
河田 悌一	一般社団法人大学資産共同運用機構理事長		有・無
國澤 隆雄	元学校法人大阪医科薬科大学理事 理事長		有・無
鈴木 康夫	株式会社 Bizits パートナーズ代表取締役社長		有・無
中西 吉明	石川県副知事		有・無
中村 健一	中村留精密工業株式会社代表取締役社長		有・無
野路 國夫	コマツ取締役		有・無
林 幸秀	公益財団法人ライフサイエンス振興財団理事長		有・無
村山 卓	金沢市副市長		有・無
矢部 彰	新エネルギー・産業技術総合開発機構技術戦略研究センターユニット長		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> ・ 無)・ 周知の方法 職員宛てメールにて周知している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名：公益財団法人日本医療機能評価機構 時期：平成 27 年 5 月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 本院Webサイトにて情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 糖尿病及び糖尿病性腎症の重症化予防に取り組む糖尿病透析予防チーム、高度な栄養管理をチームとして実施する栄養サポートチーム、悪性腫瘍等の患者のうち、身体的症状又は精神症状を持つ者に対して症状緩和に係る専従のチームとして緩和ケアチーム、褥瘡の予防及び褥瘡発生時における適正な処理を図るため褥瘡対策チームを置いている。平成 30 年度には、これまでの院内感染制御チーム (ICT) に加えて、新たに抗菌薬適正使用支援チーム (AST) を組織し、院内感染に対応する体制をさらに充実させた。そのほか、倫理的な問題を検討する場、解決困難な倫理的問題への医療者の相談対応・解決への支援を行う体制として、臨床倫理コンサルティングチームを設置している。	

(様式第 8)

金大病総第 46 号
令和 元年 10 月 1 日

厚生労働大臣 殿

国立大学法人金沢大学長
山崎 光悦

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

公益財団法人日本医療機能評価機構が主催する研修に参加させる予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

・所属職員：専従（4）名、専任（2）名、兼任（11）名
うち医師：専従（1）名、専任（2）名、兼任（4）名
うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名
うち看護師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名
うち事務職員：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名
うち臨床工学技士：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名
うち診療放射線技師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

・平成 31 年 4 月に新たに専従医師 1 名を配置した。
・今後の専従職員の増員配置については未定である。